取扱説明書

ＭＰ－２６２ＬＣ／ＬＣＴ

ＲＥＶ．１．１

ナダ電子株式会社

０２０６０５

改　訂　記　録

REV NO.	ページ	改　訂　内　容	日　付
1.0	15	ディップスイッチの位置（注1）（注2）　追加	11.11.25
1.1	19	C.ディップＳＷ２の機能切替設定 SW2-7 未使用→アイソレートの有無 SW2-8 未使用→カッターの有無　に変更	13.09.04

安全上のご注意

※ ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
　又、お読みになったあとは 本製品の近くなど いつでも見られる場所に必ず保管して下さい。

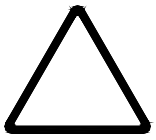
この「安全上のご注意」では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他人の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を絵表示で示します。

注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の程度によって「**警告**」、「**注意**」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。
その表示と意味は次の様になっています。
内容をよくご理解の上、本文をお読みの下さい。

☆ 危害・損害の程度とその表示

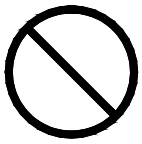
警告	**この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が死亡 又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
注意	**この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が傷害を負う可能性が想定される内容 及び 物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

絵表示の例



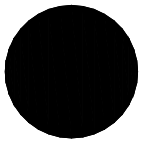
この記号は一般的な注意、警告、危険の通告に使用します。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。
（例）

：一般的な注意事項　　 ：感電注意



この記号は一般的なしてはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容が描かれているものもあります。
（例）

：分解禁止　　 ：接触禁止



この記号は必ず従っていただく内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。
（例）

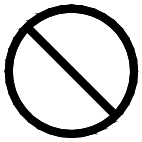
：一般的な行為の指示　　 ：電源プラグ抜け

⚠ 警告

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのない様に刃の根元まで確実に差し込んで下さい。

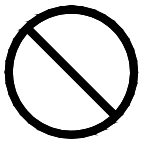
ほこりが付着したり 接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。

（プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。）



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。又、重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないで下さい。

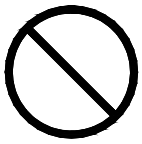
電源コードが傷んだ時は、販売店に交換をご依頼下さい。そのまま使用しますと火災・感電の恐れがあります。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。又、タコ足配線はしないで下さい。

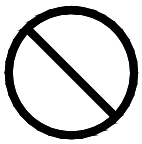
火災・感電の恐れがあります。

（交流１００Ｖ ５０／６０Ｈｚの商用電源コンセントに接続して下さい。）



必ず電源を接続する前にアース接続して下さい。

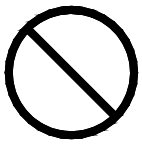
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災・感電の原因となる恐れがあります。



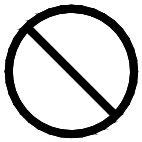
取り外したカバー、キャップ、ネジ等は小さなお子様が誤って飲むことがないように、又、本装置を包装しているビニール袋は誤って被ることがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いて下さい。

万一の場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠ 警告

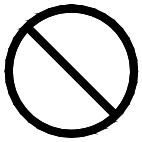


濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
感電の恐れがあります。

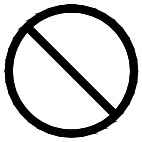


電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい時は使用しないで下さい。
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。

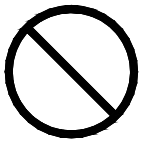
本機を分解・改造しないで下さい。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。



本機のキャビネットを外さないで下さい。
内部の点検、修理は販売店にご依頼下さい。
内部には電圧の高い部分や鋭利な部分があり、感電やけがの恐れがあります。

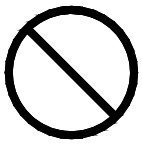


湿気やほこりの多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないで下さい。
火災・感電の原因となる恐れがあります。



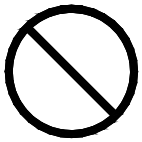
本機の上や近くに薬品や水などの入った容器 又は 金属物を置かないで下さい。
万一、こぼれたり 中に入った場合は、火災・感電の原因となる恐れがあります。
異物（水、液体、金属片など）が中に入った時は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

⚠ 警告



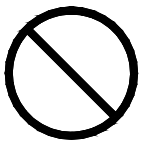
本機の開口部等から内部に金属類や燃えやすい物等の異物を差し込んだり、落としたりしないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



本装置に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動や衝撃の多い場所には置かないで下さい。

落ちたり 倒れたりして、けがの原因になることがあります。万一、本機を落としたり キャビネット等を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

万一、発熱している、煙が出ている、変な臭いがする等の異常が見つかった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

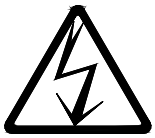
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。

お客様自信による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。

機器を落としたり、カバー等を破損した場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、販売店にご連絡下さい。

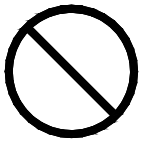
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

警告



オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。

感電の恐れがあります。



オプション機器を接続する場合には、取扱説明書に書かれていない機器は接続しないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。

注意

本機を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。
又、接続ケーブルなども外して下さい。
作業は足元に十分注意して行って下さい。

コードが傷つき、火災・感電の原因となったり、機器が落ちたり倒れてけがの原因となることがあります。

電源コードは、必ずプラグを持って抜いて下さい。

電源コードを引っ張りますと　コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

通電したまま　本機をカバー等で被わないで下さい。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないで下さい。
高温によってカバーなどが加熱、変形、変色、溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

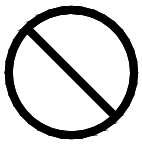
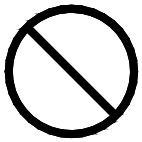
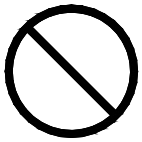
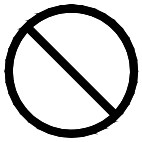
本機の上に重い物を置かないで下さい。
置いた物がバランスをくずして倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

調理台や加湿器のそば等　油煙や湯気があたる様な場所に置かないで下さい。
火災・感電の原因となる恐れがあります。

この機器の通風孔をふさがないで下さい。
通風孔をふさぐと　内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機を壁ぎわ等に設置する場合は、必ず１０cm 以上離して下さい。

結露状態のまま使用しないで下さい。
火災・感電の原因となることがあります。
室温の低い所から暖かい場所に移動した場合　又　室内の温度を急に上げた場合は、ご使用の前に３０分以上放置して結露状態を取り除いて下さい。

⚠ 注意

	**電源コードを熱器具に近づけないで下さい。** コードの被覆が溶けて、火災・感電の恐れがあります。
	**カードなどの差し込み口に指などを入れないで下さい。** けがの原因となることがあります。
	**記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等を巻き込まれない様にご注意下さい。** けがの原因となることがあります。
	**プリンタへのヘッド部分には触れない様にご注意下さい。** けが・火傷の原因となることがあります。
	連休等で 長期間本機を使用しない時は安全のため、必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
	落雷の恐れがあるときは、安全のため 必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 火災の原因になることがあります。
	重量のある機器を移動する場合は、必ず２人以上で運んで下さい。 腰や手を痛める恐れがあります。

☆☆☆　☆☆☆　☆☆☆　☆☆☆　　目　　次　　☆☆☆　☆☆☆　☆☆☆　☆☆☆

□　概要、特長、品名表示・・・

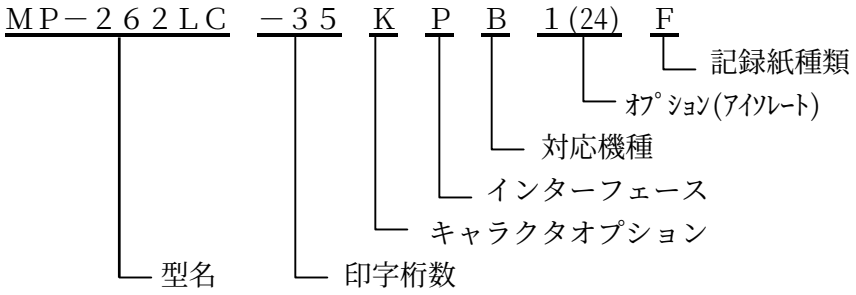
【概　要】

この２６２ＬＣシリーズのプリンタはインパクト方式により、赤／黒印字や、多彩な文字型式の混在印字、外字、イメージによるグラフィック、またオプションによりＪＩＳ第１，第２水準の漢字が印字出来る多機能なジャーナルプリンタです。

【特　長】

1) JIS第１，第２水準の漢字を標準装備（16×16ドットフォント）。
2) シフトJISコードによる漢字コード指定。
3) 外字登録（16×16 ドット）指定。
4) グラフィック印字。
5) ３種類のANK184文字フォントを内蔵。

【品名表示】



[型名]

ＭＰ－２６２ＬＣ ‥‥‥‥ パネル型(カットタイプ)
ＭＰ－２６２ＬＣＴ ‥‥‥ デスクトップ型

［印字桁数］

３５ ‥‥‥ 5x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ
４２ ‥‥‥ 7x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ(ﾊｰﾌﾄﾞｯﾄ)

＊ この印字桁数は電源投入時のモードを表します。このモードはディップＳＷで切り替えることが出来ます。またコマンドを入力することによっても切り替えることが出来ます。

［キャラクタオプション］

なし ‥‥‥ ＡＮＫ仕様（標準）
Ｋ ‥‥‥‥ 漢字内蔵タイプ

［インターフェース］

Ｐ ‥‥‥‥ ﾊﾟﾗﾚﾙ(ｾﾝﾄﾛﾆｸｽ準拠)
Ｒ ‥‥‥‥ ｼﾘｱﾙ(RS-232C)

＊ このインターフェースモードの切り替えは工場出荷指定となります。

［対応機種］

なし ‥‥‥ 標準
Ａ ‥‥‥‥ ＭＰ－２１０コンパチ（取説別）
Ｂ ‥‥‥‥ ＰＣ－９８０１仕様

＊ 旧262ﾀｲﾌﾟの切り替えはﾃﾞｨｯﾌﾟSWで切り替え可能。

［オプション］

１ ‥‥‥‥ アイソレート仕様（パラレルインターフェースのみ）
　＊アイソレート電圧は５Ｖ，12Ｖ，24Ｖ（）内に指示
３ ‥‥‥‥ ＤＣ２４Ｖ入力仕様

［記録紙種類］

なし ‥‥‥ ロール紙（標準）
Ｆ ‥‥‥‥ 折り畳み紙（ＭＰＴタイプではありません）

【一般仕様】
1) 印字方式 ・・・・・・・・・・・・・・ シャトルドットマトリックス
2) ドット総数 ・・・・・・・・・・・・ 210 ドット／ライン
3) 印字速度 ・・・・・・・・・・・・・・ 約2.3 行／秒 （５×７ドットフォント時）
（注）印字速度はデータの転送時間は含みません。

【印字桁数】
1) ANK 5×7 ﾌｫﾝﾄ ・・・・・・・・・・ ３５桁
2) ANK 7×7 ﾊｰﾌﾌｫﾝﾄ ・・・・・・・ ４２桁
3) ANK 8×16 ﾌｫﾝﾄ ・・・・・・・・・ ２６桁
4) 漢字 16×16 全角文字 ・・・ １３桁
5) 漢字 16×16 縮小文字 ・・・ ２６桁

【文字寸法】
1) ANK文字（各184文字） （幅×高さmm）
5×7 ﾌｫﾝﾄ ・・・・・・・・・・・・・・ 1.6×2.9mm
7×7 ﾊｰﾌﾌｫﾝﾄ ・・・・・・・・・・・ 1.3×2.9mm
8×16 ﾌｫﾝﾄ ・・・・・・・・・・・・・ 2.2×5.8mm
2) 漢　字 （幅×高さmm）
16×16ﾌｫﾝﾄ ・・ 全角文字 ・・ 5.0×6.6mm
縮小文字 ・・ 2.2×6.6mm

【外字登録】
1) 外字登録文字数
16×16ﾌｫﾝﾄ ・・・・・・・・・・・・・ 16ブロック

【グラフィック】
1) ｸﾞﾗﾌｨｯｸ印字ﾃﾞｰﾀ数 ・・・・・・・ ４Kバイト

【インターフェース】
1) シリアルＩ／Ｆ ・・・・・・・・・・ ＲＳ－２３２Ｃ
2) パラレルＩ／Ｆ ・・・・・・・・・・ セントロニクス準拠
＊このインターフェースモード切り替えは工場出荷指定となります。

【電　源】
1) 交　流 （標準）・・・・・・・・・・ 電圧 ・・・・・・・・・・・・・・ ＡＣ85～132Ｖ
周波数 ・・・・・・・・・・・・ 50/60ＨＺ
動作時消費電力 ・・・・ 約60W
静止時消費電力 ・・・・ 約 7W
2) 直　流 （ｵﾌﾟｼｮﾝ）・・・・・・・・ 電圧 ・・・・・・・・・・・・・・ ＤＣ24Ｖ±10%
電流 ・・・・・・・・・・・・・・ ２Ａ(ﾋﾟｰｸ電流 3A)
静止時消費電力 ・・・・ 約 2.4W(電流最大 0.1A)
＊（ＭＰＴタイプでは直流仕様はありません。）

【動作環境】
1) 温　度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ０℃～＋50℃
2) 湿　度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30%～90%RH （結露無き事）

【保存環境】
1) 温　度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ －20℃～＋70℃
2) 湿　度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５%～95%RH （結露無き事）

【信頼性】
1) ヘッド寿命 ・・・・・・・・・・・・・ １億ストローク／１ピン
(150万x5文字／ﾋﾟﾝ　：１文字＝14ｽﾄﾛｰｸ)
2) ヘッド以外 ・・・・・・・・・・・・・ ＭＣＢＦ　１５０万行
3) カッター寿命 ・・・・・・・・・・・・ ＭＣＢＦ　20万フルカット

【記 録 紙】　普通紙
1) ロール紙 ・・・・・・・・・・・・・・・ 76㎜（幅）×120φ×145m（長さ）
2) 折りたたみ紙 ・・・・・・・・・・・・ 76㎜（幅）×５ｲﾝﾁ（縦）×100m（長さ）
3) 紙　厚 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.06～0.085㎜
4) 坪　量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52.3ｇ／㎡～64ｇ／㎡
5) 型　名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ロール紙 ・・・・・・・・・・ ＮＲ－７６２
折りたたみ紙 ・・・・・・ ＮＦ－７６１
＊（ＭＰＴタイプでは折りたたみ仕様はありません。）

【リボンカセット】
1) 型　名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ERC-23（赤／黒 ２色）
2) 寿　命 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 赤／黒　各約75万文字（25℃連続印字）

【重量】
1) ＭＰ－２６２ＬＣ ・・・・・・・・・・・・ ９Ｋｇ
2) ＭＰ－２６２ＬＣＴ ・・・・・・・・・・ ９Ｋｇ

【附属品】
1) Ｉ／Ｆコネクタ
パラレルＩ／Ｆ仕様の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １個
シリアルＩ／Ｆ仕様の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １個
※Ｉ／Ｆコネクタは指定のモードのコネクタのみ付属されます。
2) ロール紙 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【パネルスイッチ操作説明】

１．ＦＥＥＤスイッチ

FEEDスイッチを押す事により紙送り動作を行います。

FEED動作はプリンタがｾﾚｸﾄ及びﾃﾞｨｾﾚｸﾄのいずれの状態においても有効となります。

（注） FEED動作によりペーパーをメカユニットにセットする場合に紙詰まりが起こらないように注意して下さい。もし紙詰まりが発生した時は、プリンタの電源を切り、ピンセットなどでペーパーをメカユニットから取り除いた後再度電源を入れペーパーをセットし直して下さい。

２．ＳＥＬＥＣＴスイッチ

プリンタを手動により強制的にオフライン状態にする事が出来ます。

オフライン状態から復帰させる場合にはもう一度SELECTスイッチを押す事によりオンライン状態に戻ります。

もし復帰出来ない場合には下記の内容を再チェックして下さい。

1)．内蔵されている記録紙がなくなっている場合

2)．プリンタが異常動作を起こしている場合

【テストプリント機能】

［操作方法］

FEEDスイッチを押した状態のままで電源をONする事で テストプリントを開始します。

電源を切るまで テストプリントは繰り返し行われます。

［機能、内容］

プリンタ内部のメカユニットの動作確認 及び 内部ロジックの動作をチェックします。

また DIPSW の設定内容を印字することで機能設定の確認も行えます。

【ＨＥＸダンプ機能】

［操作方法］

SELECTスイッチを押した状態のままで電源をONする事で HEXダンプモードになります。

［機能、内容］

受信したHEXコードデータをバッファフルで印字します。

バッファフル未満のデータはSEL SWを押す事で印字されます。

受信データの確認が行えます。

【パラレルインターフェース】

セントロニクス準拠

制御入力信号 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 全てＴＴＬレベル
（アイソレート仕様は除く）

[DATA 0～7]

① JIS 8 単位コード 及び イメージデータの０～７ビットです。
② 論理１は Highレベルです。（正論理）

[DATA.STROBE (DSTB)]

① ＤＡＴＡ０～７を読み込む為の、ストローブ信号です。
② 定常状態では“Ｈ”レベルであり、“Ｈ”レベルから “Ｌ”レベルになる時 データを読み込み、処理を行います。
（注意）DATAストローブ信号は立ち下がりのエッジによりDATA処理を行います。

[INPUT.BUSY]

① この信号が“Ｈ”レベルの時は プリンタがBUSY状態であり、外部からのデータ転送は受付ません。
② この信号は、DATA受信時 及び プリンタ動作時（印字、紙送り、ディセレクト、etc...）に出力されます。

[ACKNOWLEDGE (ACK)]

① DSTBに対する応答信号、及び データ要求信号です。
② データの入力完了時、出力される負のパルス信号です。
③ この信号が出力されるまで、次のDSTBを送り出してはいけません。

[P.E]

① ペーパーエンドになると、この信号が“Ｈ”レベルとなり外部からのデータ転送は出来なくなります。
② ペーパーエンドによりディセレクト状態となり、セレクト信号は“Ｌ”ﾚﾍﾞﾙとなります。
③ ペーパーを SET後、セレクトスイッチを押す事で自動的に P.Eは解除されます。

[SELECT]

① この信号が“Ｌ”レベルのときオフライン状態を示し、INPUT.BUSYが“Ｈ”レベルとなり、外部からのデータの受信を禁止します。
② オフライン状態（ディセレクト）にする動作には、下記のものが有ります。
1) 前面のセレクトSWにより、オフラインにした場合。
2) ペーパーが無くなり、ペーパーエンドになった時。
3) プリンタが動作中エラーになった時。

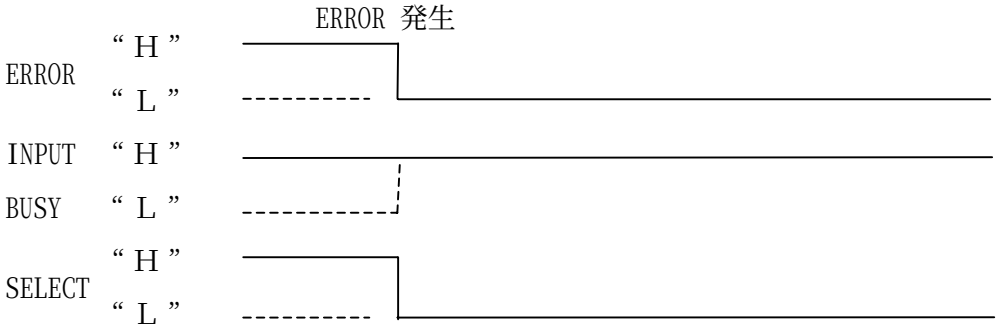
[INPUT,PRIME(INITIAL)]

① プリンタを初期状態にする信号です。
② 定常状態では“Ｈ”レベルであり、“Ｌ”レベルから“Ｈ”レベルになった時点からイニシャル動作を実行します。
③ 動作中に本信号を“Ｌ”レベルにすると、直ちにそのとき実行中の動作を中断します。
④ 電源投入時は、自動的に本動作を実行します。
⑤ エラー時にも受信可能ですが、エラーの要因が解除されていない場合は、再びエラーとなります。
（注意）イニシャル処理を行う事により内部の設定及びDATAは全てクリアされます。

[ERROR]

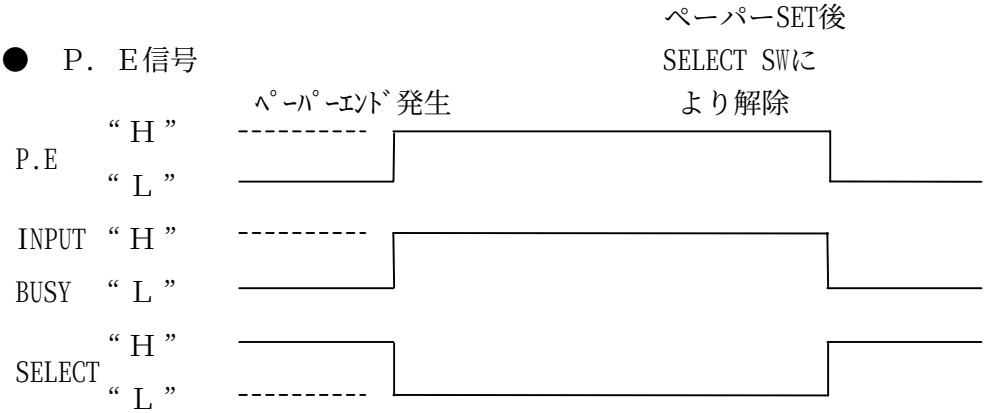
① 定常状態では“Ｈ”レベルであり、プリンタの異状（動作中エラー）が発生した時点において“Ｌ”レベルになります。
② この信号が“Ｌ”レベルの間は、外部からのデータの受信は禁止されます。

● ＥＲＲＯＲ信号



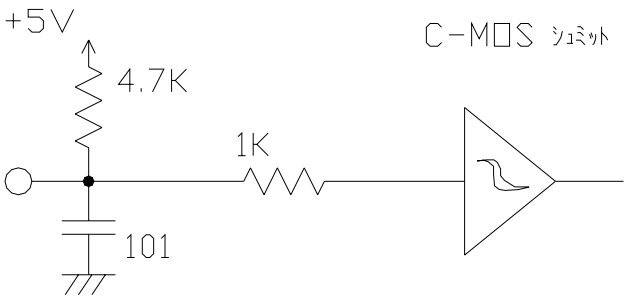
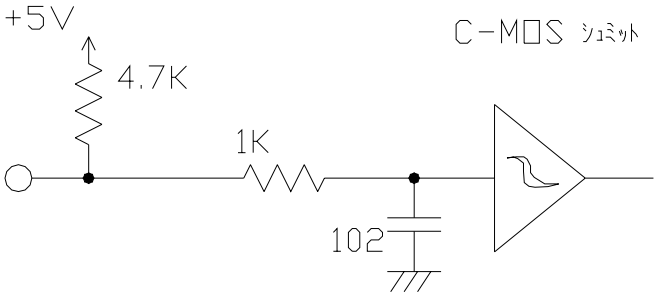
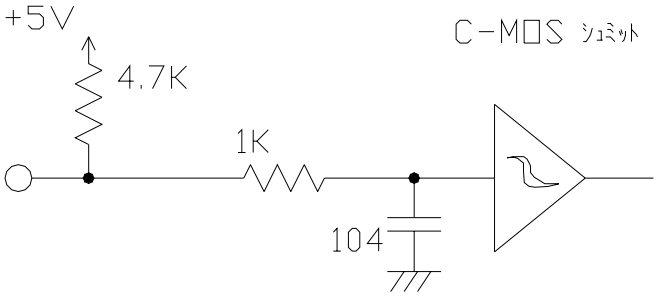
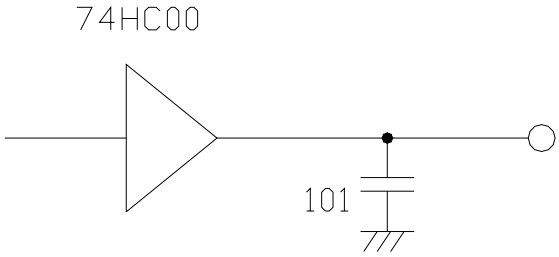
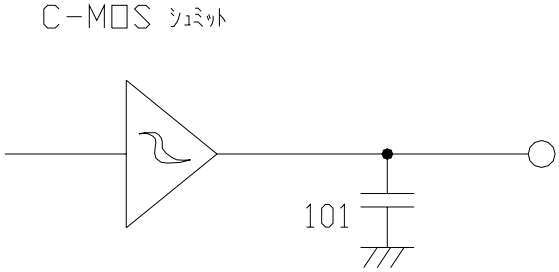
動作中エラーが発生すると、ERROR信号が“Ｌ”レベルとなります。
又、ERROR発生により、INPUT.BUSYが“Ｈ”レベル、SELECTが“Ｌ”レベルとなります。
動作中エラーにおいてはエラーの要因を解除した後、再度電源を投入し直して下さい。

● Ｐ．Ｅ信号

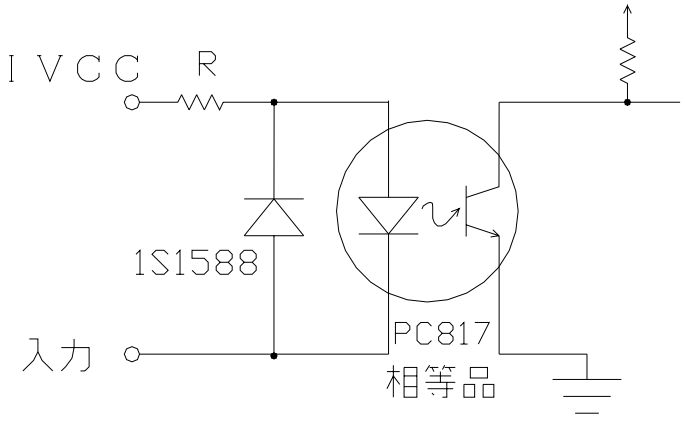
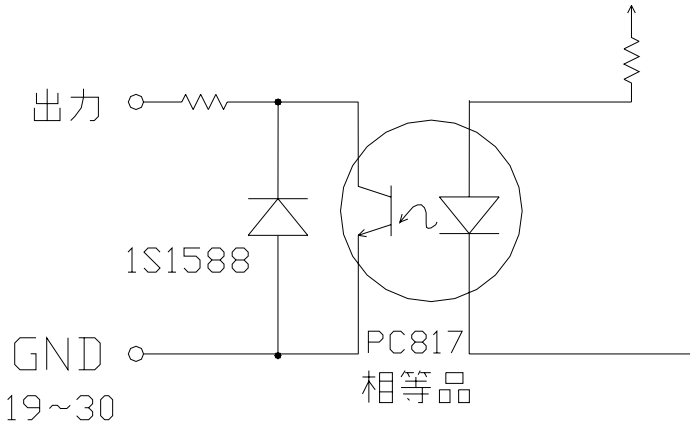


ﾍﾟｰﾊﾟｰｴﾝﾄﾞの発生により、P.E信号が“Ｈ”レベルとなります。
又、P.Eの発生と同時に INPUT.BUSYが“Ｈ”レベル、SELECTが“Ｌ”レベルに変化します。
内蔵ペーパーを SETした後、パネル面の SELECT SW により、P.Eを解除する事が出来ます。

【入出力回路構成】

	信号名	構　　成
入力	DATA　0～7	
入力	$\overline{\text{DATA.STB}}$	
入力	$\overline{\text{INITIAL}}$	
出力	INPUT.BUSY P.E	
出力	$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{ERROR}}$ SELECT	

【入出力回路構成（アイソレート仕様）】

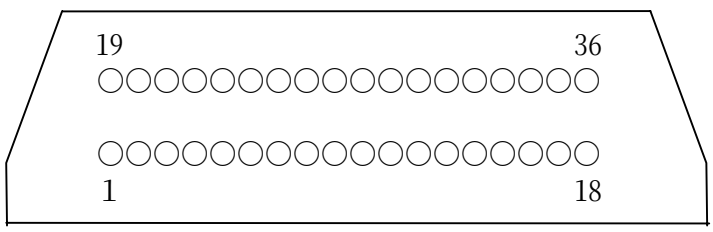
	信号名	構　　成
入力	DATA　0～7 DATA.STB INITIAL	
出力	INPUT.BUSY P.E ACK ERROR SELECT	

【適合コネクタ】

プリンタ側	DDK	57-40360
ケーブル側	DDK	57-30360

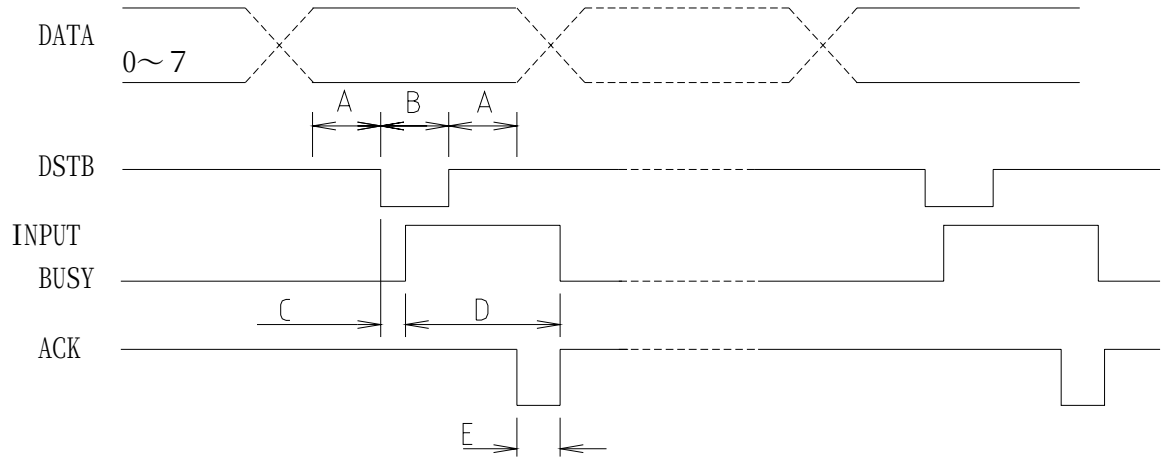
【コネクタ表】

PIN №	信　号　名	PIN №	信　号　名
1	$\overline{\text{DATA･STROBE}}$ [DSTB]	19	TWISTED PAIR GND
2	DATA 0	20	TWISTED PAIR GND
3	DATA 1	21	TWISTED PAIR GND
4	DATA 2	22	TWISTED PAIR GND
5	DATA 3	23	TWISTED PAIR GND
6	DATA 4	24	TWISTED PAIR GND
7	DATA 5	25	TWISTED PAIR GND
8	DATA 6	26	TWISTED PAIR GND
9	DATA 7	27	TWISTED PAIR GND
10	$\overline{\text{ACKNOWLEGE}}$ [ACK]	28	TWISTED PAIR GND
11	INPUT.BUSY [BUSY]	29	TWISTED PAIR GND
12	PAPER END [P.E]	30	TWISTED PAIR GND
13	SELECT [SEL]	31	$\overline{\text{INPUT,PRIME}}$ [INITIAL]
14	GND *(NC)	32	$\overline{\text{ERROR}}$ [ERR]
15	GND *(NC)	33	GND *(NC)
16	NC	34	NC *(IVCC)
17	FRAME GROUND [FG]*(NC)	35	NC *(IVCC)
18	+5V[1KΩ PULL UP]*(IVCC)	36	NC *(IVCC)



注*. アイソレート時は（ ）内の端子となります。
IVCCには 5, 12, 24Vのいずれかのアイソレート電源を入力して下さい。

【タイミングチャート】



Ａ：１μsecMIN（50μsecMIN）　　Ｄ：内部処理時間
Ｂ：１μsecMIN（100μsecMIN）　　Ｅ：約 30μsec
Ｃ：100nsecMAX（100μsecMAX）　　（ ）内はアイソレート仕様

１．プリンタ内部処理時間

［１ラインバッファ］

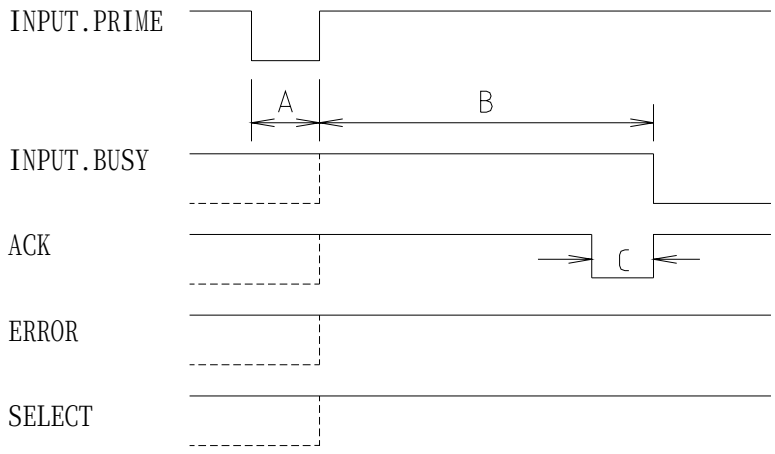
1) ＪＩＳ１８４文字DATA受信時 ‥‥‥ 約 400μsec
2) 漢字モード第一バイト受信時 ‥‥‥ 約 400μsec
3) 漢字モード第二バイト受信時 ‥‥‥ 約 2.2msec

［８Ｋバイトバッファ］

1) ＤＡＴＡ受信時 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 約 250μsec
2) ８ＫバイトバッファCLR（ESC＋@）・約 ９msec

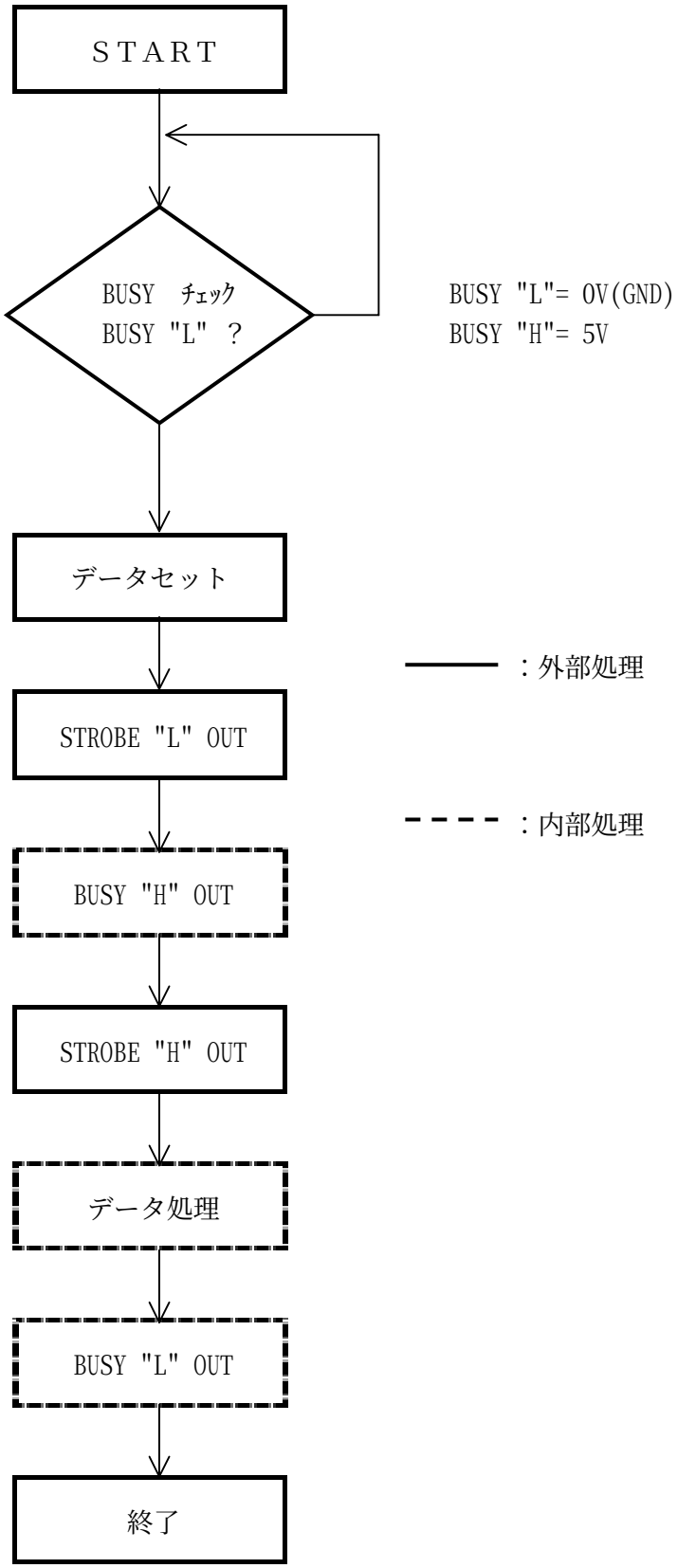
（注　意） DATAの転送は、必ず ACK 又は INPUT.BUSY を確認して行って下さい。

２．電源ON時及び INPUT.PRIME信号入力時



1.‥‥‥A が“LOW”の間プリンタはリセット状態を保ち、“HIGH”に立ち上がってから初期化動作を開始します。
2.‥‥‥INPUT.BUSYは、プリンタが初期化動作を終了した時、立ち下がります。
3.‥‥‥SELECTは、P.E（ペーパーエンド）やFAULTになった時“L”になります。

【パラレルデータ転送フローチャート】



※ データ転送は必ず１バイト毎にＢＵＳＹをチェックしながら転送して下さい。

【シリアルインターフェース】

［種　類］

ＲＳ－２３２Ｃ準拠

［伝送速度］

2400，4800，9600，19200 （BPS）

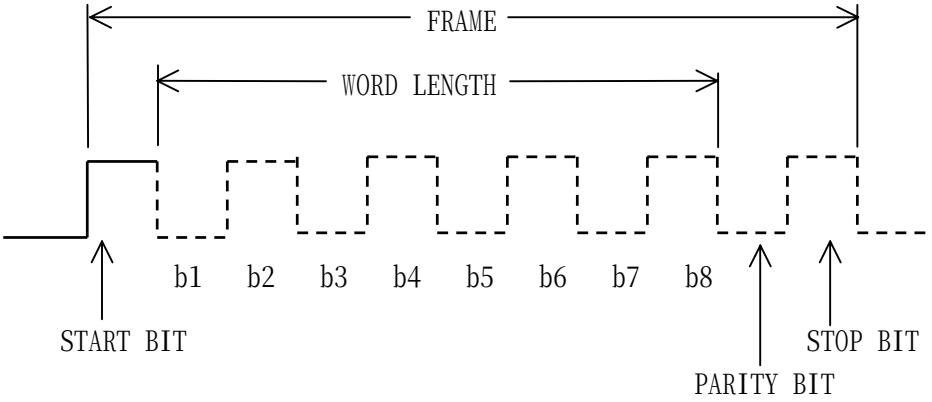
［データプロトコル］

DTR方式（READY／BUSY）

［同期方式］

非同期方式

① START BIT ･･･････････････ １BIT
② WORD LENGTH ･･･････････････ ７BIT または ８BIT 切換
③ PARITY BIT ･･･････････････ EVEN，ODD，NO-PARITY 切換
④ STOP BIT ･･･････････････ １BIT または ２BIT 切換



［誤り検出］

① パリティチェック
受信したデータの“１”であるビットの総和が予め、設定した偶数か奇数パリティと一致しない時に発生します。

② フレミングエラー
スタートビットより定められたﾌﾚｰﾑ内にストップビットが無い場合に発生します。

③ オーバーランエラー
受信されたデータがプリンタに読み出される前に、次のデータが入力された場合に発生します。

［信号極性］

マーク　＝論理“１”（-3V ～ -27V）
スペース＝論理“０”（+3V ～ +27V）

［適合コネクタ］

プラグ　　（ケーブル側） DB-09P（または相当品）
リセプタクル（プリンタ側） DB-09S（または相当品）

［コネクタ表］

PIN No	略　称	名　　称	方向	
1	FG	FRAME GROUND　（保安用接地）	－	○
3	RD	RECEIVED　（受信データ）	入力	○
4	RTS	REQUEST TO SEND　（送信要求）	出力	×
5	CTS	CLEAR TO SEND　（送信可）	入力	×
7	SG	SIGNAL GROUND　（信号用接地）	－	○
9	DTR	DATA TERMINAL READY（末端レディ）	出力	○

○：使用する
×：使用せず

［信号の説明］

RDY／BUSY方式

FG ・・・・・・・・・ FRAME GROUND
保安用の接地ラインです。

RD ・・・・・・・・・ RECEIVED DATA
ホストCPUよりプリンタへシリアルデータを送る伝送ラインです。
伝送しない時はマーク状態にしなければなりません。

SG ・・・・・・・・・ SIGNAL GROUND
信号用グランドラインです。

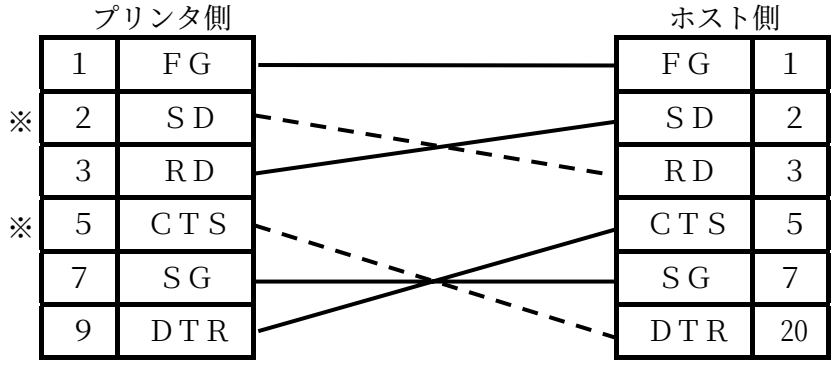
CTS ・・・・・・・・ CLEAR TO SEND
プリンタへの入力信号ですが使用しません。

RTS ・・・・・・・・ REQUEST TO SEND
プリンタからの出力信号ですが、DTRと同じ出力です。

DTR ・・・・・・・・ DATA TERMINAL READY
プリンタからの出力信号です。プリンタが受信可能の時はスペース状態になります。
プリンタエラー 及び ペーパーエンド時、DTRはマーク状態です。

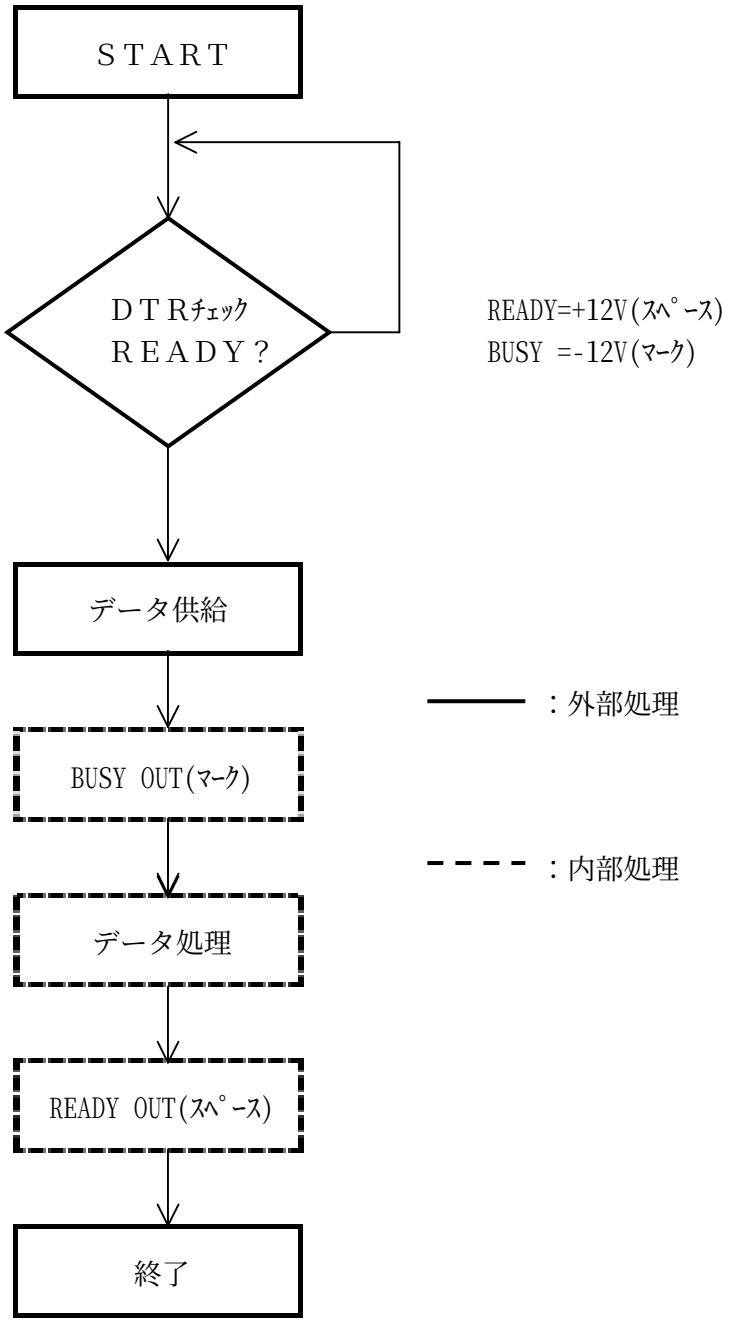
注）プリンタエラーになる原因
① 紙詰まり，リボンのからみ等 モーターに過負荷が加わった時。
② 電源電圧の異状により モーター回転が低下した時。

［コネクタ配線図］



※印は特に接続する必要はありません。

【シリアルデータ転送フローチャート】



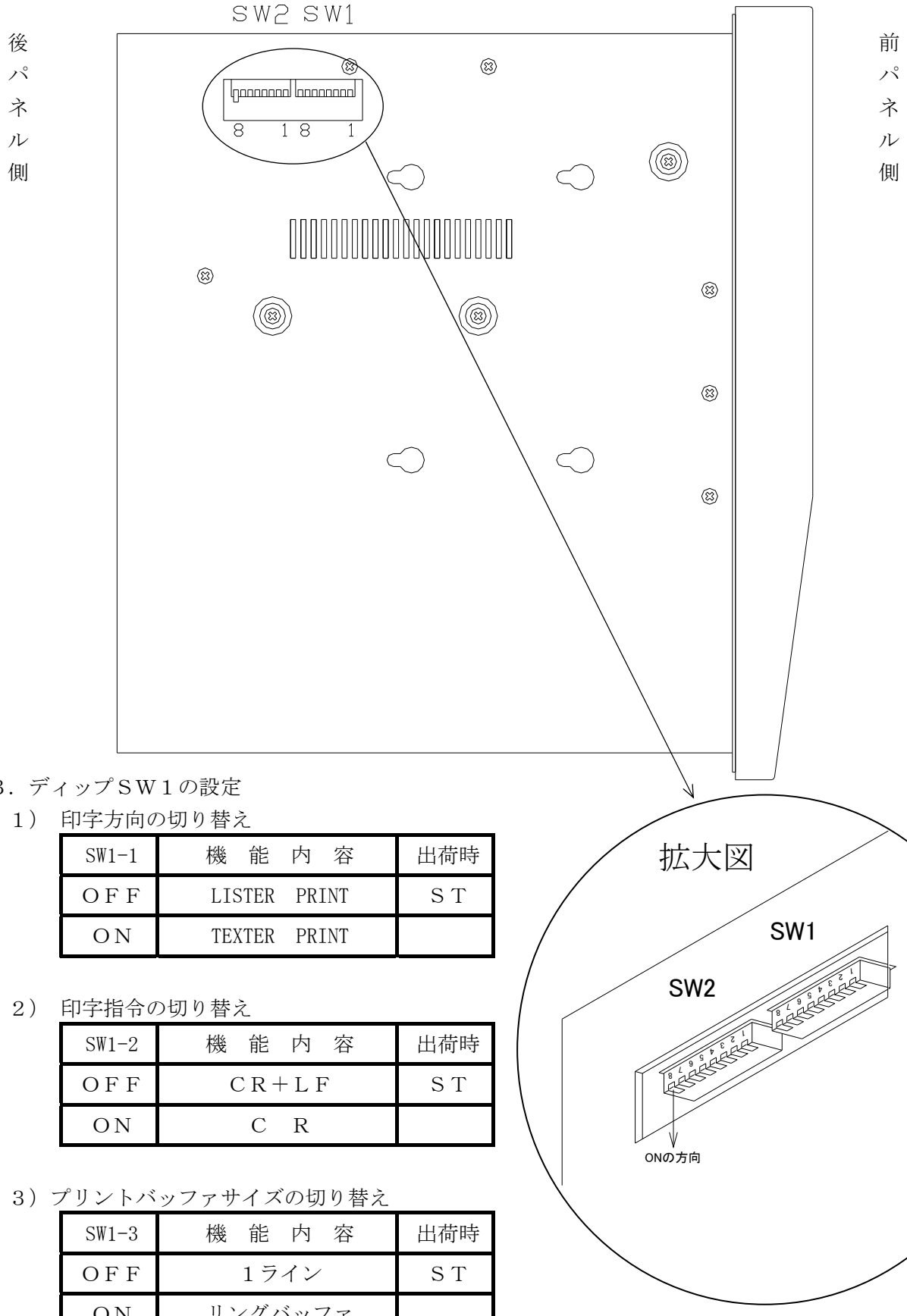
※ データ転送は必ず１バイト毎にＤＴＲをチェックしながら転送して下さい。

【ディップＳＷの位置】

Ａ．ディップＳＷ１、ＳＷ２の位置及びＯＮ／ＯＦＦ方向

（注1）スイッチ操作はピンセット等を使用してください。

（注2）スイッチの設定は必ず電源を切った状態で行ってください。



Ｂ．ディップＳＷ１の設定

１） 印字方向の切り替え

SW1-1	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	LISTER　PRINT	ＳＴ
ＯＮ	TEXTER　PRINT	

２） 印字指令の切り替え

SW1-2	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	ＣＲ＋ＬＦ	ＳＴ
ＯＮ	Ｃ　Ｒ	

３）プリントバッファサイズの切り替え

SW1-3	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	１ライン	ＳＴ
ＯＮ	リングバッファ	

4） バッファフル印字の切り替え

SW1-4	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	有　効	ＳＴ
ＯＮ	無　効	

5） ＳＥＬＥＣＴ　スイッチ

SW1-5	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	有　効	ＳＴ
ＯＮ	無　効	

6） 5x7ﾄﾞｯﾄ／7x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄの切り替え

SW1-6	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	5x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ	ＳＴ
ＯＮ	7x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ	

＊ この印字桁数は電源投入時のモードを表します。またコマンドを入力することによっても 切り替えることが出来ます。

7） 対応機種切り替え

SW1-7	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	標　準　仕　様	ＳＴ
ＯＮ	PC-9800 仕　様	

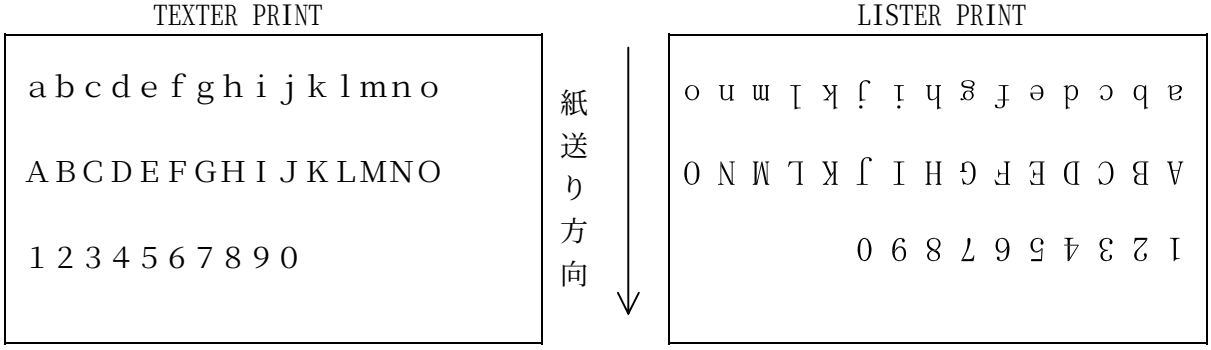
8） 新旧モデル切り替え

SW1-8	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	新ﾀｲﾌﾟ２６２ⅡＡ	ＳＴ
ＯＮ	旧ﾀｲﾌﾟ２６２	

＊ 特に指定がない限り出荷時の設定は ＳＴ側で出荷します。

［ディップ　ＳＷ１　機能説明］

１．［印字方向切替］



データ転送順序

① １ ２ ３ ４ ５ ６ ７ ８ ９ ０　印字指令

② Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ Ｆ Ｇ Ｈ Ｉ Ｊ Ｋ Ｌ Ｍ Ｎ Ｏ　印字指令

③ ａ ｂ ｃ ｄ ｅ ｆ ｇ ｈ ｉ ｊ ｋ ｌ ｍ ｎ ｏ　印字指令

２．［印字指令の切替］

〔CRプロトコル〕

印字コマンドのCRコードが入力された場合に印字動作処理後、自動的に改行します。

〔CR+LFプロトコル〕

印字コマンドが“CR+LF”と続いて入力された場合、印字 及び 改行動作を行います。

３．［１ラインバッファ／リングバッファの切替］

〔１ラインバッファ仕様〕

DATAをINPUT BUSY 及び ACK信号に同期した状態で入力し、印字コマンド“CR”又は“CR+LF”コードによりそれまでの入力DATAを印字します。

〔リングバッファ仕様〕

入力されたデータは即座に処理され、印字中もデータを取り込み出来ますので、ホストの負担が軽くなり、全体的な印字のスピードアップが計れます。バッファは24Kバイトの容量でリングになっていますので処理が終わった所にはまたデータを取り込み出来ます。以前の８Ｋバッファ仕様ではデータの最後にＥＴＸコードを入力していましたがリングバッファ仕様では入力しなくても可。

（注）　ペーパーエンド、ディセレクト、印字動作中、メカエラー中即ちBUSY中はデータ受信されません。

リングバッファ仕様で印字動作中にペーパーEND が発生した場合には自動的にオフライン状態になりその行を印字終了後印字が中断されますが、ペーパーをセットした後SELECTスイッチを押しオンラインにすることで､残りのDATAを続けて印字します。

４．［バッファフル印字の設定］

〔バッファフル印字有効〕

キャラクターDATA、又は漢字DATAが１行分に印字出来るDATAを取り込んだ時点でﾌﾟﾘﾝﾄｺﾏﾝﾄﾞ "CR" または "CR+LF" が入力されなくても、自動的に印字動作を行います。

〔バッファフル印字無効〕

バッファフル印字を禁止にすると､ﾌﾟﾘﾝﾄｺﾏﾝﾄﾞ“ CR ”または”CR+LF ”が入力されないかぎり、印字動作を行いません。

（注）　バッファフル印字を無効に設定した場合、１行分に印字出来る桁数以上のDATAが入力されても無視され、バッファ内部に取り込む事は出来ません。

５．［セレクトスイッチの設定］

〔セレクトスイッチ有効〕

SELECT SWを有効に設定すると、前面パネルのSELECTスイッチにより、プリンタをｾﾚｸﾄ/ﾃﾞｨｾﾚｸﾄに切り替える事が出来ます。

〔セレクトスイッチ無効〕

SELECT SWを無効に設定すると、SELECTスイッチにより、プリンタをﾃﾞｨｾﾚｸﾄ状態にする事が出来なくなります。(ﾃﾞｨｾﾚｸﾄからｾﾚｸﾄへは戻せます。)

（注）　SELECTスイッチを無効に設定しても、ペーパーエンド時においては自動的にﾃﾞｨｾﾚｸﾄ状態となり、ペーパーをSET 後、前面パネルのSELECTスイッチにより、SELECT状態へ戻す必要があります。

６．［5x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ／7x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄの切り替え］

〔5x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ指定〕

電源投入時、５ｘ７ドットフォントモードにします。

〔7x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ指定〕

電源投入時、７ｘ７ドットフォントモードにします。

（注）　途中ドットフォントコマンドを入力することによって、切り替えることが出来ます。

７．［対応機種の切り替え］

〔標準指定〕

ナダ電子標準モードになります。

〔PC-9800指定〕

ＰＣ－９８００モードになります。

（注）　標準とPC-9800の違いはｶﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙ指定とｶｯﾀｰ駆動指定のコマンドが違います。

８．［新旧モデルの切り替え］

〔新ﾀｲﾌﾟ２６２ⅡＡ指定〕

全ての文字の混在印字が可能になります。

〔旧ﾀｲﾌﾟ２６２指定〕

旧２６２とソフトコンパチ仕様になります。

C．ディップＳＷ２の機能切替設定

1） 通信速度設定（ＲＳ－２３２Ｃ）

SW2-1	SW2-2	機　能　内　容	出荷時
ＯＮ	ＯＮ	１９２００	
ＯＦＦ	ＯＮ	９６００	ＳＴ
ＯＮ	ＯＦＦ	４８００	
ＯＦＦ	ＯＦＦ	２４００	

2） データ長

SW2-3	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	８ビット	ＳＴ
ＯＮ	７ビット	

3） パリティ

SW2-4	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	無　　効	ＳＴ
ＯＮ	有　　効	

4） パリティの種類

SW2-5	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	ＥＶＥＮ	ＳＴ
ＯＮ	ＯＤＤ	

5） ストップビット

SW2-6	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	１ビット	ＳＴ
ＯＮ	２ビット	

6） アイソレートの有無

SW2-7	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	無	ＳＴ
ＯＮ	有	

7） カッターの有無

SW2-8	機　能　内　容	出荷時
ＯＦＦ	無	
ＯＮ	有	ＳＴ

（注）　ディップＳＷ２はパラレル（セントロ仕様）では無視されます。

【ファンクションコードの説明】

名　称	コード	機　　能
ＥＴＸ	(03) H	８Ｋバイトバッファの最終コードとして入力します。
ＬＦ	(0A) H	１ライン改行動作を行います。
ＣＲ	(0D) H	印字動作を行います。
ＳＯ	(0E) H	以後のDATAを横２倍文字印字に指定します。
ＳＩ	(0F) H	横２倍文字印字を解除します。
ＣＡＮ	(18) H	１ラインにおけるDATAの抹消を行います。
ＣＵＴ	(1A) H	ペーパーカット動作を行います。
ＥＳＣ	(1B) H	エスケープ：機能拡張用コマンドです。
ＦＳ	(1C) H	ファイルセパレータ：機能拡張用コマンドです。

【コマンド表】

名　　称	機　　能	コ　ー　ド	16進ﾃﾞｰﾀ
5x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ 文字指定	5x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄの文字 指定を行います。	ESC+'M'	(1B)H+(4D)H
7x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄ 文字指定	7x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄの文字 指定を行います。	ESC+'g'	(1B)H+(67)H
改行数指定	1から9行までの 改行を行います。	ESC+L+'1'-'9'	(1B)H+(4C)H +改行数
ﾄﾞｯﾄﾋﾟｯﾁ改行 ｺﾝﾄﾛｰﾙ指定	改行ﾋﾟｯﾁをﾄﾞｯﾄ単位で 設定する事が出来ます	ESC+3+(00)H-(FF)H (1B)H+(33)H+改行ﾄﾞｯﾄ数	
ﾄﾞｯﾄﾋﾟｯﾁ改行 ｺﾝﾄﾛｰﾙ解除	ﾄﾞｯﾄﾋﾟｯﾁ改行ｺﾝﾄﾛｰﾙ を解除します。	ESC+'2'	(1B)H+(32)H
行間ピッチ 送り禁止	印字後の行間送り を禁止します。	ESC+'6'	(1B)H+(36)H
行間ピッチ 送り禁止解除	印字後の行間送り を行います。	ESC+'7'	(1B)H+(37)H
8K ﾌﾟﾘﾝﾄﾊﾞｯﾌｧ ｸﾘｱ指定	8Kﾊﾞｲﾄﾊﾞｯﾌｧ仕様時に ﾌﾟﾘﾝﾄﾊﾞｯﾌｧのﾃﾞｰﾀを 全て抹消します。	ESC+@	(1B)H+(40)H
ｶﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙ指定 （標準仕様）	赤／黒のﾘﾎﾞﾝの 切替を行います。	ESC+r+0 or 1 (1B)H+(72)H+(30)H/(31)H	30H=黒印字 31H=赤印字
ｶﾗｰｺﾝﾄﾛｰﾙ指定 （PC-9800仕様）	赤／黒のﾘﾎﾞﾝの 切替を行います。	ESC+C+0 or 2 (1B)H+(43)H+(30)H/(32)H	30H=黒印字 32H=赤印字
ﾌﾙｶｯﾄﾓｰﾄﾞ指定	ｶｯﾄﾓｰﾄﾞをﾌﾙｶｯﾄに 指定します。	FS+'F'	(1C)H+(46)H
ﾊﾟｰｼｬﾙｶｯﾄﾓｰﾄﾞ 指定	ｶｯﾄﾓｰﾄﾞをﾊﾟｰｼｬﾙｶｯﾄ ﾓｰﾄﾞに指定します。	FS+'T'	(1C)H+(54)H
カッター駆動指定 （標準仕様）	記録紙のカット 動作を行います。	ESC+'C'	(1B)H+(43)H
カッター駆動指定 （PC-9800仕様）	記録紙のカット 動作を行います。	ESC+'G'	(1B)H+(47)H
グラフィック 指定	グラフィック印字 を行います。	ESC+S+下位+上位+ﾄﾞｯﾄﾃﾞｰﾀ ﾃﾞｰﾀ数	(1B)H+(53)H +転送ﾃﾞｰﾀ数 +ﾄﾞｯﾄﾃﾞｰﾀ

名　　称	機　　能	コ　ー　ド	１６進ﾃﾞｰﾀ
ＡＮＫ半角指定	ＡＮＫ半角 指定を行います。	FS+SI または ESC+'h'+'1'	(1C)H+(0F)H または (1B)H+(68)H+(31)H
ＡＮＫ半角解除	ＡＮＫ半角 解除を行います。	FS+DC2 または ESC+'h'+'0'	(1C)H+(12)H または (1B)H+(68)H+(30)H
外字定義指定	外字登録(16x16ﾌｫﾝﾄ) の指定を行います。	ESC+X+(30)H~(3F)H+n1~n32 (1B)H+(58)H+[定義No.]+[外字DATA]	
ｼﾌﾄJISｺｰﾄﾞ指定	ｼﾌﾄJISｺｰﾄﾞの受付を 許可します。	ESC+'&'	(1B)H+(26)H
ｼﾌﾄJISｺｰﾄﾞ解除	ｼﾌﾄJISｺｰﾄﾞの受付を 禁止します。	ESC+'$'	(1B)H+(24)H
漢字全角指定	漢字の全角 指定を行います。	FS+'&' または ESC+'K'	(1C)H+(26)H (1B)H+(4B)H
漢字全角解除	漢字の全角 解除を行います。	FS+'.' または　　(1C)H+(2E)H ESC+'K'またはESC+'t'以外のESCコード。	
漢字90度変換指定	漢字の90度変換指定 を行います。	FS+'J' または ESC+'t'	(1C)H+(4A)H (1B)H+(74)H
漢字90度変換解除	漢字の90度変換指定 の解除を行います。	FS+'K'	(1C)H+(4B)H
漢字縮小指定	漢字縮小指定を 行います。	FS+'x'	(1C)H+(78)H
漢字縮小解除	漢字縮小指定を 解除します。	FS+'y'	(1C)H+(79)H

（注）・電源の再投入によりそれまでに指定された内容については全てクリアされます。

【コマンドの説明】

A．５ｘ７ドットフォント文字指定

ESC	＋	M

(1B)H + (4D)H

〔機　能〕　ANK文字における5x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄの文字指定を行います。

B．７ｘ７ドットフォント文字指定

ESC	＋	g

(1B)H + (67)H

〔機　能〕　ANK文字における7x7ﾄﾞｯﾄﾌｫﾝﾄの文字指定を行います。

C．改行数指定

ESC	＋	L	＋	１～９	（改行数）

(1B)H + (4C)H + (31)H ～ (39)H

〔機　能〕　改行数の設定により１行から９行までの改行を行います。

〔注　意〕　改行数範囲外のDATAが入力されると改行指定は無効となります。

D．ドットピッチ改行コントロール指定

ESC	＋	3	＋改行ﾄﾞｯﾄﾋﾟｯﾁDATA

(1B)H + (33)H + (00)H ～ (FF)H

〔機　能〕　それぞれの文字の高さで印字した後の紙送り量を設定します。
"00"にすると印字後の紙送りは行われません。
電源投入時の印字後の紙送り量は、全て３ドットです。

E．ドットピッチ改行コントロール解除

ESC	＋	2

(1B)H + (32)H

〔機　能〕　ドットピッチ改行コントロール指定で設定されたドットピッチを破棄し、それぞれの文字の高さ＋３ドットの紙送り設定になります。すなわち

文字種類	文字高さ	紙送りﾄﾞｯﾄ
1) ANK 5×7 ﾌｫﾝﾄ	7ﾄﾞｯﾄ	3ﾄﾞｯﾄ
2) ANK 7×7 ﾊｰﾌﾌｫﾝﾄ	7ﾄﾞｯﾄ	3ﾄﾞｯﾄ
3) ANK 8×16 ﾌｫﾝﾄ	16ﾄﾞｯﾄ	3ﾄﾞｯﾄ
4) 漢字 16×16 全角文字	16ﾄﾞｯﾄ	3ﾄﾞｯﾄ
5) 漢字 16×16 縮小文字	16ﾄﾞｯﾄ	3ﾄﾞｯﾄ

Ｆ．行間ピッチ送り禁止

ESC	＋	6
(1B)H	+	(36)H

〔機　能〕　印字後の行間紙送りを禁止します。

Ｇ．行間ピッチ送り禁止解除

ESC	＋	7
(1B)H	+	(37)H

〔機　能〕　電源投入時と同じ、印字後の紙送りが３ドットになります。

Ｈ．８Ｋプリントバッファクリア指定

ESC	＋	@
(1B)H	+	(40)H

〔機　能〕　8Kプリントバッファ仕様において、このコードが入力される以前のプリントバッファに入力されていたDATAを全て抹消する事が出来ます。

Ｉ．カラーコントロール指定

標準仕様							ＰＣ－９８００仕様						
ESC	＋	r	＋	0	or	1	ESC	＋	C	＋	0	or	2
(1B)H	+	(72)H	+	(30)H	/	(31)H	(1B)H	+	(43)H	+	(30)H	/	(32)H
				(30)H ＝ 黒印字							(30)H ＝ 黒印字		
				(31)H ＝ 赤印字							(32)H ＝ 赤印字		

〔機　能〕　印字指令が入力される以前に入力しておくことにより赤／黒印字を選択する事が出来ます。
電源投入時は黒印字です。

Ｊ．フルカットモード指定

FS	＋	F
(1C)H	+	(46)H

〔機　能〕　ｵｰﾄｶｯﾀｰにおいてﾌﾙｶｯﾄﾓｰﾄﾞに指定します。
〔注　意〕　このコマンドのみではカットしません。カット駆動指定が必要です。
ﾊﾟｰｼｬﾙｶｯﾄ及びﾌﾙｶｯﾄはｵｰﾄｶｯﾀｰ仕様の機種でないと指定は無効となります。

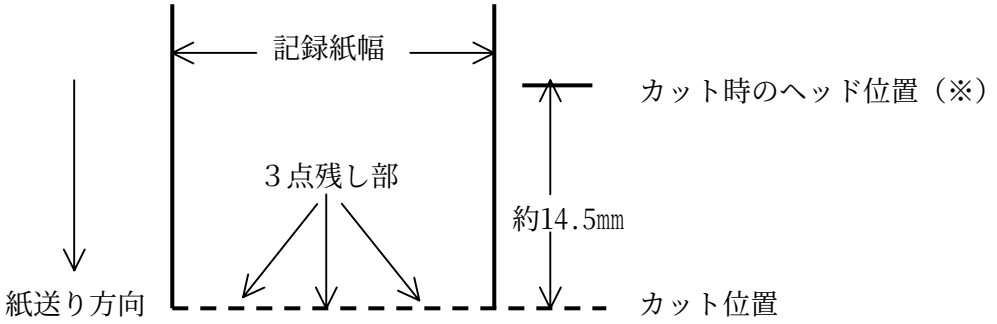
K．パーシャルカットモード指定

FS	＋	T
(1C)H	+	(54)H

〔機　能〕　ｵｰﾄｶｯﾀｰにおいてﾊﾟｰｼｬﾙｶｯﾄﾓｰﾄﾞに指定します。

〔注　意〕　ﾊﾟｰｼｬﾙｶｯﾄとは３点残しの状態で記録紙をカットします。
このコマンドのみではカットしません。カット駆動指定が必要です。

〔記録紙カット位置〕



（※）　このカット時のヘッド位置は文字の中心ではなく、最初に印字されるドットの位置である。すなわちLISTER印字では文字の頭であり、TEXTER印字では文字の下部である。

L．カッター駆動指定

標準仕様

ESC		C
(1B)H	+	(43)H

ＰＣ－９８００仕様

ESC		G
(1B)H	+	(47)H

〔機　能〕　記録紙のカット動作を行います。

〔注　意〕　このコマンドは対応機種によって異なります。

M. グラフィック指定

ESC	＋	S	＋	下位	＋	上位	＋イメージDATA
(1B)H	＋	(53)H	＋	(下位)	＋	(上位)	＋ ｲﾒｰｼﾞDATA

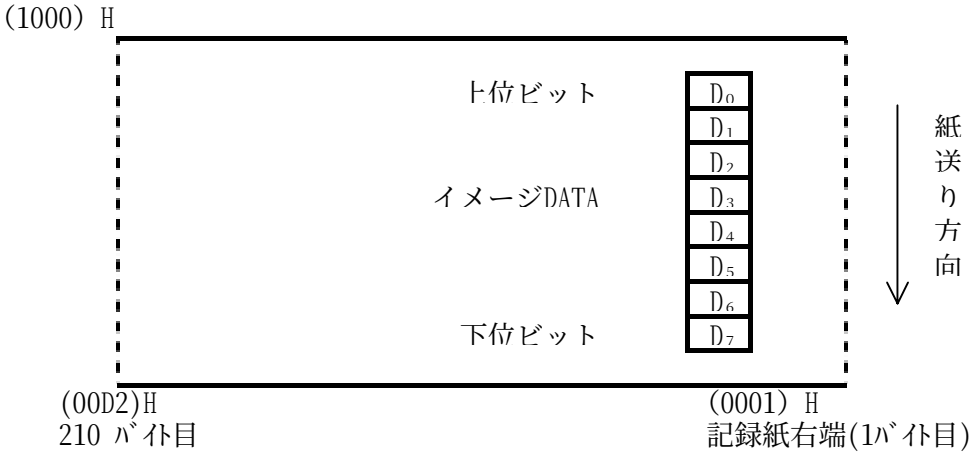
ドットイメージ転送バイト数
（00）H （01）H ～ （10）H （00）H
［上位］［下位］ ［上位］［下位］

〔機　能〕　８bitのイメージDATAを４Kﾊﾞｲﾄ（1000H）の範囲内でイメージDATAを入力する事が出来ます。

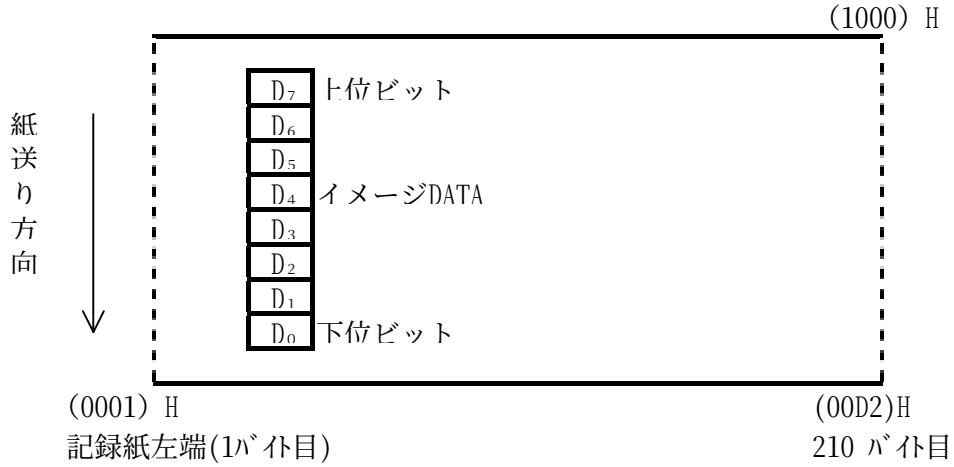
〔注　意〕　印字はｲﾒｰｼﾞﾃﾞｰﾀが入力された後、印字コマンドを入力して印字させます。

※イメージDATAは紙送り方向に対してLISTER／TEXTERにより下記の方向より印字を行います。

（ＬＩＳＴＥＲ印字の場合）



（ＴＥＸＴＥＲ印字の場合）



（注）　イメージDATAの指定では最大転送バイト数を越える数を指定した場合には、グラフィック指定は無効となります。

ドットイメージDATAを転送中はいかなるDATAもすべてイメージDATAとして内部に取り込む為に指定の解除 及び その他の機能設定はイメージDATAをすべて転送するまでは行う事が出来ません。

8Kバイトバッファ仕様時にグラフィック指定を行った場合それまでにプリントバッファ内部に入力されていた内容を自動的に印字した後、イメージDATAに基づきグラフィック印字を行います。

Ｎ．ＡＮＫ半角指定(8x16ﾌｫﾝﾄ)

FS	＋	SI			ESC	＋	h	＋	1

〔機　能〕　ＡＮＫ半角文字の指定を行います。文字ｺｰﾄﾞは１ﾊﾞｲﾄ指定です。
〔注　意〕　上記いずれのコマンドでも指定可。

Ｏ．ＡＮＫ半角解除(8x16ﾌｫﾝﾄ)

FS	＋	DC2			ESC	＋	h	＋	0

〔機　能〕　ＡＮＫ半角文字の解除を行います。
〔注　意〕　上記いずれのコマンドでも指定可。

P．16×16ドットフォント外字定義指定

ESC ＋ X ＋ (30) H～ (3F) H ＋ n_1・・・・・n_{32}

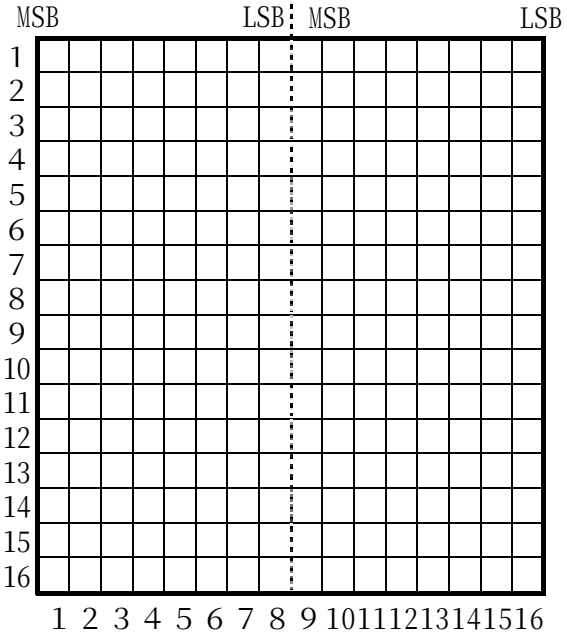
(1B)H ＋ (58)H ＋ (30)H ～ (3F)H ＋ n1・・・・n32

［外字定義No.］ ［外字DATA］

〔機　能〕 16×16ドットマトリックスの文字フォントにより外字イメージを定義します。
漢字モードにより外字定義DATAの指定を行います。
定義された外字は漢字コード（2820）H～（285F）Hを指定する事により印字されます。

定義No.	漢字ｺｰﾄﾞ	ｼﾌﾄJIS	定義No.	漢字ｺｰﾄﾞ	ｼﾌﾄJIS
(30) H	(2820)H	※	(38) H	(2828)H	(84A6)H
(31) H	(2821)H	(849F)H	(39) H	(2829)H	(84A7)H
(32) H	(2822)H	(84A0)H	(3A) H	(282A)H	(84A8)H
(33) H	(283F)H	(84A1)H	(3B) H	(282B)H	(84A9)H
(34) H	(2824)H	(84A2)H	(3C) H	(282C)H	(84AA)H
(35) H	(2825)H	(84A3)H	(3D) H	(282D)H	(84AB)H
(36) H	(2826)H	(84A4)H	(3E) H	(282E)H	(83AC)H
(37) H	(2827)H	(84A5)H	(3F) H	(282F)H	(84AD)H

外字DATAは32バイトのドットイメージDATAにより定義されます。
転送順位は下図の順番で入力して下さい。



	MSB LSB	MSB LSB
1	n_1	n_2
2	n_3	n_4
3	n_5	n_6
4	n_7	n_8
5	n_9	n_{10}
6	n_{11}	n_{12}
7	n_{13}	n_{14}
8	n_{15}	n_{16}
9	n_{17}	n_{18}
10	n_{19}	n_{20}
11	n_{21}	n_{22}
12	n_{23}	n_{24}
13	n_{25}	n_{26}
14	n_{27}	n_{28}
15	n_{29}	n_{30}
16	n_{31}	n_{32}

外字定義においてはオプションの漢字仕様でない場合にも、漢字モードに設定し印字する事が出来ます。

（注）・外字定義により登録されたDATAは瞬停 又は 電源を切る事により内容が抹消されてしまいます。
・８Ｋバイトバッファにおいて外字登録は指定された時点において処理を行います。

※．外字定義による文字をｼﾌﾄJISで印字させたい場合、漢字ｺｰﾄﾞ(2820)Hはｼﾌﾄ JISでは指定出来ません。定義ｺｰﾄﾞ(31)Hから登録して下さい。

Q．シフトＪＩＳコード指定

ESC	＋	&
(1B)H	+	(26)H

〔機　能〕　シフトＪＩＳコードにより漢字指定を行います。
〔注　意〕　手配時において漢字仕様でない場合にはシフトJIS漢字指定は無効となります。
シフトJIS指定を有効にする事でANK184文字の“E0～F8”までの特殊文字は使用出来なくなります。

R．シフトＪＩＳコード解除

ESC	＋	$
(1B)H	+	(24)H

〔機　能〕　シフトJISコードによる漢字指定を禁止します。
〔注　意〕　ANK18文字において“Ｅ0～Ｆ8”までの特殊文字を使用する場合には、必ずシフトJIS漢字指定を禁止しておく必要があります。

Ｓ．漢字全角指定

FS	＋	&	｜	ESC	＋	K
(1C)H	+	(26)H	｜	(1B)H	+	(4B)H

〔機　能〕　漢字全角文字の指定を行います。
漢字は、JIS第１，第２水準による２バイトコードで表され第１バイト、第２バイトの順に転送して下さい。
〔注　意〕　上記いずれのコマンドでも指定可。

Ｔ．漢字全角解除

FS	＋	.	｜	ESC	＋	K	または	ESC	＋	t	以外のＥＳＣコード
(1C)H	+	(2E)H	｜	(1B)H	+	(4B)H		(1B)H	+	(74)H	

〔機　能〕　漢字全角文字の解除を行います。
〔注　意〕　上記いずれのコマンドでも指定可。

U．漢字９０度変換指定

FS	＋	J		ESC	＋	t
(1C)H	+	(4A)H		(1B)H	+	(74)H

〔機　能〕　以後の漢字を９０度変換します。
〔注　意〕　縮小漢字の９０度変換印字は出来ません。
　　上記いずれのコマンドでも指定可。

V．漢字９０度変換解除

FS	＋	K
(1C)H	+	(4B)H

〔機　能〕　漢字の９０度変換を解除します。
〔注　意〕　上記いずれのコマンドでも指定可。

W．漢字縮小指定

FS	＋	x
(1C)H	+	(78)H

〔機　能〕　漢字縮小文字の指定を行います。

X．漢字縮小解除

FS	＋	y
(1C)H	+	(79)H

〔機　能〕　漢字縮小文字の解除を行います。

【取扱上の注意】

1．ペーパーをセット後、ＦＥＥＤ ＳＷを押しペーパーエンドセンサー部の紙の弛みを取って下さい。（この処理をしないと紙がセンサー部に無いためセレクトになりません。）
2．リボンカセット及びペーパーの無い状態での印字は避けて下さい。
3．電源投入後、ヘッドを定位置に戻す為に自動的にヘッドが動作を行います。
4．紙詰りしたら即座に電源を切り、ピンセットなどにより丁寧に紙を取り除いて下さい。（無理やり紙を引っぱったりすると、メカを壊す恐れがあります。）
5．ロール紙を御使用になる場合は、ロール紙の芯に記録紙がノリ付されていない物を使用して下さい。
6．電源を投入する場合は、短時間の間に電源の投入を繰り返さないで下さい。
7．プリンタの信号ラインはACライン，動力ライン等、大きいノイズの発生する可能性のあるラインと一緒に結束または、ダクト内に収納しないで下さい。
8．長期の使用により、紙ケバ等が付着していると誤動作が考えられますので定期的に清掃を行って下さい。
9．パネル面のセレクトスイッチにより、ディセレクト状態にする事でマニュアルFEEDスイッチを駆動させる事が出来ます。
10．鉄粉等の多い場所、又はゴミ，ホコリの多い場所での使用及び保管は避けて下さい。
11．折りたたみ紙を御使用の場合、ミシン目から前後約8㎜ の位置での印字が間のびする事があります。
12．電源投入時において、パネル面のフィードスイッチを押しながら電源を投入する事でテストパターンに入り、現在設定しているスイッチの内容を印字する事が出来ます。
13．カッター仕様の場合、ディセレクト状態で前パネルの紙送りスイッチにより駆動した後、自動的にカット動作を行います。
14．リボン及びペーパーの交換時において　赤／黒
切り換えレバー金具をＡ方向に持ち上げて
曲げない様にして下さい。
このレバーが曲がる事により　赤／黒の印字が
正常に行なわれなくなります。
15．各種の文字の混在ができますが、文字の指定
コマンドは必ず１個のみの指定として下さい。
複数個の文字の指定を同時に行うと、誤動作の
恐れがあります。即ち文字の変更をする場合、
現在指定している文字を解除後、次の文字を
指定するようにして下さい。
16．アイソレート仕様の場合、フォトカプラに流す電流はデータを入力する時のみ「ＯＮ」し 通常の待機中は必ず「ＯＦＦ」になる様にして下さい。

【保守 及び 清浄】

長期の使用により紙粉等が付着して誤動作する事が考えられます。
その為、定期的に清浄し、トラブルを未然に防止する様、保守管理を行って下さい。

〔汚れの除去〕

柔らかな布にアルコール，又はベンジンをつけて拭き取って下さい。

（注） シンナー，トリクレン，ケトン系溶剤は、プラスチック部品を破損する恐れがありますので、使用しないで下さい。

〔ゴミ，ホコリの除去〕

真空による掃除（電気掃除機の利用）を行って下さい。

〔定期点検〕

３ヵ月或は、50万行印字に達した時点で定期的に点検を行って下さい。

・各種バネの変形を確認して下さい。
・検出器付近のゴミ，ホコリを除去して下さい。

【異常対策】

1．紙詰まりが発生した場合には即座に電源を切り 丁寧に紙詰まりを取り除いて下さい。
無理やり記録紙を引っ張りますと メカユニットが破損する恐れが有ります。
2．プリンタ異常（インジケータ 赤／緑が交互に点滅）の場合には一度電源を切って約５秒後に再度電源を投入して下さい。

【使用環境】

1．鉄粉等の多い場所 又は ゴミ，ホコリの多い場所での使用 及び 保管は避けて下さい。
モーターの劣化 及び ギヤ損傷，ホトインタラプタの出力低下等の問題が発生します。
2．プリンタの信号ラインはACライン，動力ライン等 大きいノイズの発生する可能性のあるラインと一緒に結束したり 同じダクト内に収納しないで下さい。
3．メカユニット内部には接点部が有る事から空気中に不純物（低分子のシリコン等）が充満している環境で使用しますと 接点不良等により正常動作が出来ませんので、周りの環境に注意して下さい。
4．プリンタに高圧静電がかかると 内部ロジック回路が破損する場合が有ります。その為、筐体アースは取る様にして下さい。
5．結露したまま 印字動作を行った場合、内部ロジック回路が破損する危険性が有ります。
結露した場合は十分に乾かした後に印字動作を行って下さい。

【保証期間と修理対象期間について】

1．当プリンタの保証期間は、出荷後６ヶ月間とします。
2．保証期間を過ぎたもの 及び 保証期間内でユーザー側責任（使用範囲を越えた使用並び使用中の落下などによる破損、天災など）による故障については保証外とします。
3．保証期間内においても寿命を越える使用による故障は保証外とします。
4．修理対象期間は製造中止後５年間とします。
5．メカニズム等の一部部品については、保全を前提としていないためユニットごと交換する場合がありますのでご了承下さい。

【仕様変更】

改善の為、細部仕様は予告なしに変更することが有ります。

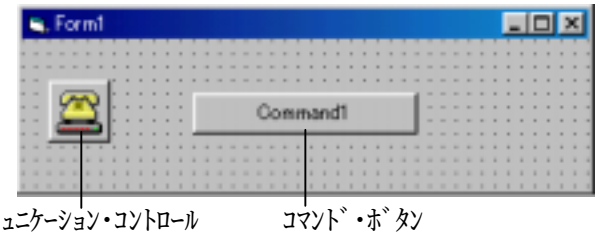
【Visual Basic(Ver 5.0/6.0)による印字サンプルプログラム】

次のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑは、"ナダ電子プリンタ"という漢字を1行と"NADA PRINTER"というANK文字列を1行印字します。
このﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを実行するには、まずｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｺﾝﾄﾛｰﾙとｺﾏﾝﾄﾞﾎﾞﾀﾝを含むﾌｫｰﾑﾓｼﾞｭｰﾙのｺｰﾄﾞｴﾃﾞｨﾀｳｨﾝﾄﾞｳに下のｺｰﾄﾞを記述します。次に、F5 ｷｰを押して実行し、ｺﾏﾝﾄﾞﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸします。
(注意) 漢字の印字をサポートしていないプリンタには漢字コードを送信しない(①～③行を削除する)で下さい。

```
Private CanselSend As Boolean                   '[ESC]ｷｰで送信中止
Private Sub Command1_Click()
    Dim i As Integer, j As Integer              'For文ｶｳﾝﾀ
    Dim sendData As String                      '送信ﾃﾞｰﾀ

    MSComm1.Settings = "9600,n,8,1"             'ﾎﾞｰﾚｰﾄ9600bps､ﾊﾟﾘﾃｨ無し､ﾃﾞｰﾀ長8ﾋﾞｯﾄ､ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1
    MSComm1.CommPort = 1                        'COMﾎﾟｰﾄの1を使用します
    MSComm1.PortOpen = True                     'COMﾎﾟｰﾄを開きます
    If (MSComm1.DSRHolding = False) Then        'ﾌﾟﾘﾝﾀのDTR信号がｵﾌなら送信を中止します
        End
    End If
    sendData = Chr$(&H1B&) & Chr$(&H40&)            'ﾌﾟﾘﾝﾀの初期化
    sendData = sendData & "ナダ電子プリンタ"---------------------- ①
    sendData = sendData & Chr$(&HD&)                '印字動作------ ②
    sendData = sendData & Chr$(&HA&)                '1ﾗｲﾝ改行------ ③
    sendData = sendData & "NADA PRINTER"
    sendData = sendData & Chr$(&HD&)                '印字動作
    sendData = sendData & Chr$(&HA&)                '1ﾗｲﾝ改行
    For i = 1 To Len(sendData)
        Do While MSComm1.OutBufferCount <> 0        '送信ﾊﾞｯﾌｧが空になるのを待ちます
            DoEvents
            If (CanselSend = True) Then             '[ESC]ｷｰで中止します
                Exit For
            End If
        Loop
        Do While MSComm1.DSRHolding = False         'ﾌﾟﾘﾝﾀのDTR信号がｵﾝになるのを待ちます
            DoEvents
            If (CanselSend = True) Then             '[ESC]ｷｰで中止します
                Exit For
            End If
        Loop
        MSComm1.Output = Mid$(sendData, i, 1)       '1文字ずつ送信します
    Next i
    MSComm1.PortOpen = False                        'COMﾎﾟｰﾄを閉じます
End Sub
Private Sub Form_KeyDown(KeyCode As Integer, Shift As Integer)
    If (KeyCode = vbKeyEscape) Then                 '[ESC]ｷｰを押す
        CanselSend = True
    End If
End Sub
Private Sub Form_Load()
    Form1.KeyPreview = True                         'ﾏｳｽよりもｷｰﾎﾞｰﾄﾞのｲﾍﾞﾝﾄの方を優先させます
End Sub
```

※ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｺﾝﾄﾛｰﾙは､Visual Basicの[ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ(P)]ﾒﾆｭｰの[ｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄ(O)]をｸﾘｯｸし、“ｺﾝﾄﾛｰﾙ”にある“Microsoft Comm Control”をﾁｪｯｸする事で使用できる様になります。



【キャラクタ・コード表】

［ＡＮＫコード表］

ビット番号									0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
									0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
									0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
									0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0	行列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
				0	0	0	0	0			SP	0	@	P	‘	p			SP	—	タ	ミ	年	ℓ
				0	0	0	1	1			!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム	月	²
				0	0	1	0	2			”	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ	日	³
				0	0	1	1	3	ETX		#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ	円	○
				0	1	0	0	4			$	4	D	T	d	t			ヽ	エ	ト	ヤ	入	●
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ	出	□
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ	℃	■
				0	1	1	1	7			’	7	G	W	g	w			ァ	キ	ヌ	ラ	Ω	◇
				1	0	0	0	8		CAN	（	8	H	X	h	x			ィ	ク	ネ	リ	μ	◆
				1	0	0	1	9			）	9	I	Y	i	y			ゥ	ケ	ノ	ル	Σ	
				1	0	1	0	A	LF	CUT	*	:	J	Z	j	z			ェ	コ	ハ	レ	φ	
				1	0	1	1	B	VT	ESC	＋	;	K	[	k	{			ォ	サ	ヒ	ロ	∞	
				1	1	0	0	C		FS	,	〈	L	¥	l	|			ャ	シ	フ	ワ	÷	
				1	1	0	1	D	CR		—	=	M	]	m	}			ュ	ス	ヘ	ン	±	
				1	1	1	0	E	SO		.	〉	N	^	n	￣			ョ	セ	ホ	゛	≠	
				1	1	1	1	F	SI		／	?	O	_	o	SP			ッ	ソ	マ	゜	〒	

JIS C 6226-1978
〔ＪＩＳ第１水準コード表〕
（注）Ｂ１：第１バイト　　Ｂ２：第２バイト

B1 ＼ B2		16進	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		16進	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2	1	1		(SP)	、	。	,	.	・	:	;	?	!	゛	゜	´	`	¨	^	￣	_	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	○	ー	―	‐	／
2	2	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓																	
2	3	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2	4	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2	5	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2	6	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2	7	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
3	0	8		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3	1	9		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3	2	10		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3	3	11		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3	4	12		垢	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3	5	13		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3	6	14		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3	7	15		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3	8	16		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3	9	17		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3	A	18		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3	B	19		察	挿	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3	C	20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3	D	21		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3	E	22		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3	F	23		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
4	0	24		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4	1	25		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4	2	26		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4	3	27		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
4	4	28		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4	5	29		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4	6	30		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4	7	31		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
4	8	32		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4	9	33		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4	A	34		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4	B	35		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4	C	36		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4	D	37		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4	E	38		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4	F	39		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄	肋	録

B2 / B1		16進	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2	1	1	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2	2	2																																
2	3	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2	4	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2	5	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2	6	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2	7	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
3	0	8	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3	1	9	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3	2	10	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3	3	11	垣	柿	蝸	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3	4	12	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3	5	13	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3	6	14	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3	7	15	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頸	鶏	芸	迎	鯨
3	8	16	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3	9	17	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降
3	A	18	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3	B	19	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3	C	20	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蘂	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3	D	21	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3	E	22	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3	F	23	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靱	笥	諏	須	酢	図	厨
4	0	24	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4	1	25	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4	2	26	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4	3	27	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4	4	28	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊
4	5	29	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4	6	30	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4	7	31	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4	8	32	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4	9	33	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4	A	34	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4	B	35	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4	C	36	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4	D	37	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4	E	38	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4	F	39	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

B2 / B1		16進	6 0	6 1	6 2	6 3	6 4	6 5	6 6	6 7	6 8	6 9	6 A	6 B	6 C	6 D	6 E	6 F	7 0	7 1	7 2	7 3	7 4	7 5	7 6	7 7	7 8	7 9	7 A	7 B	7 C	7 D	7 E	7 F
16進			64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
2	1	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥	$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2	2	2																																
2	3	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2	4	4	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ		
2	5	5	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ		
2	6	6																																
2	7	7	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я
3	0	8	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	
3	1	9	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	
3	2	10	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭		
3	3	11	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応		
3	4	12	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	
3	5	13	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	
3	6	14	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改		
3	7	15	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	
3	8	16	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	橿	
3	9	17	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱		
3	A	18	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	
3	B	19	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩		
3	C	20	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄			
3	D	21	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇		
3	E	22	義	蟻	誼	議	掬	吉	喫	詰	砧	基	逆	客	脚	虐	九	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮		
3	F	23	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡		
4	0	24	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局		
4	1	25	曲	極	玉	勤	巾	斤	均	近	金	菌	衿	襟	謹	銀	九	区	句	苦	駆	駈	悔	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧		
4	2	26	屑	沓	靴	轡	窪	熊	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	兄	刑	形	系	径	茎	係	型	契	計	恵	啓	掲	渓	経		
4	3	27	継	茎	蛍	計	警	軽	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧		
4	4	28	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻		
4	5	29	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇		
4	6	30	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功		
4	7	31	効	勾	厚	口	向	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校		
4	8	32	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱		
4	9	33	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨		
4	A	34	狛	込	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐		
4	B	35	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤		
4	C	36	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷		
4	D	37	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸		
4	E	38	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	死		
4	F	39	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時		

JIS C 6226-1978

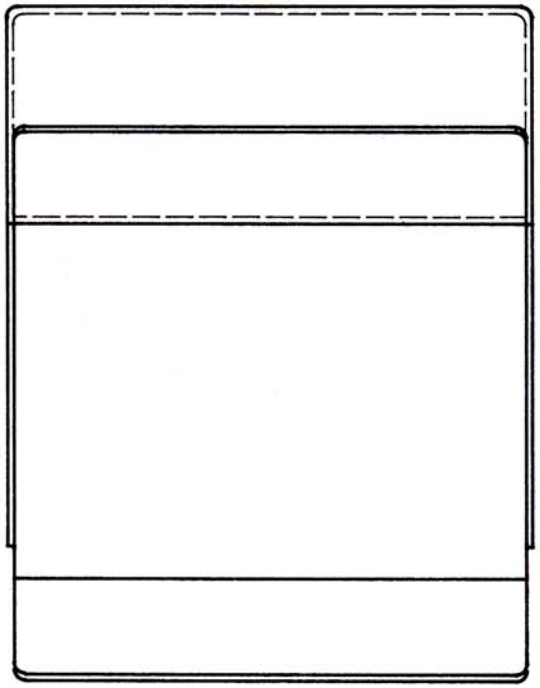
〔ＪＩＳ第２水準コード表〕

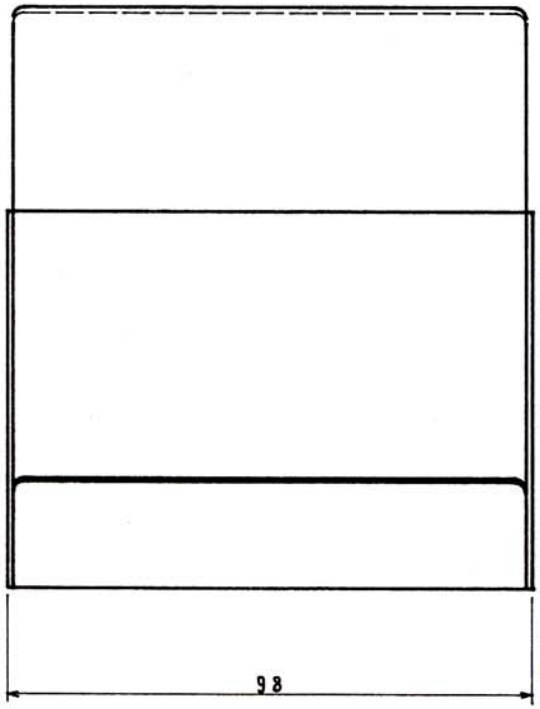
（注）Ｂ１：第１バイト　　Ｂ２：第２バイト

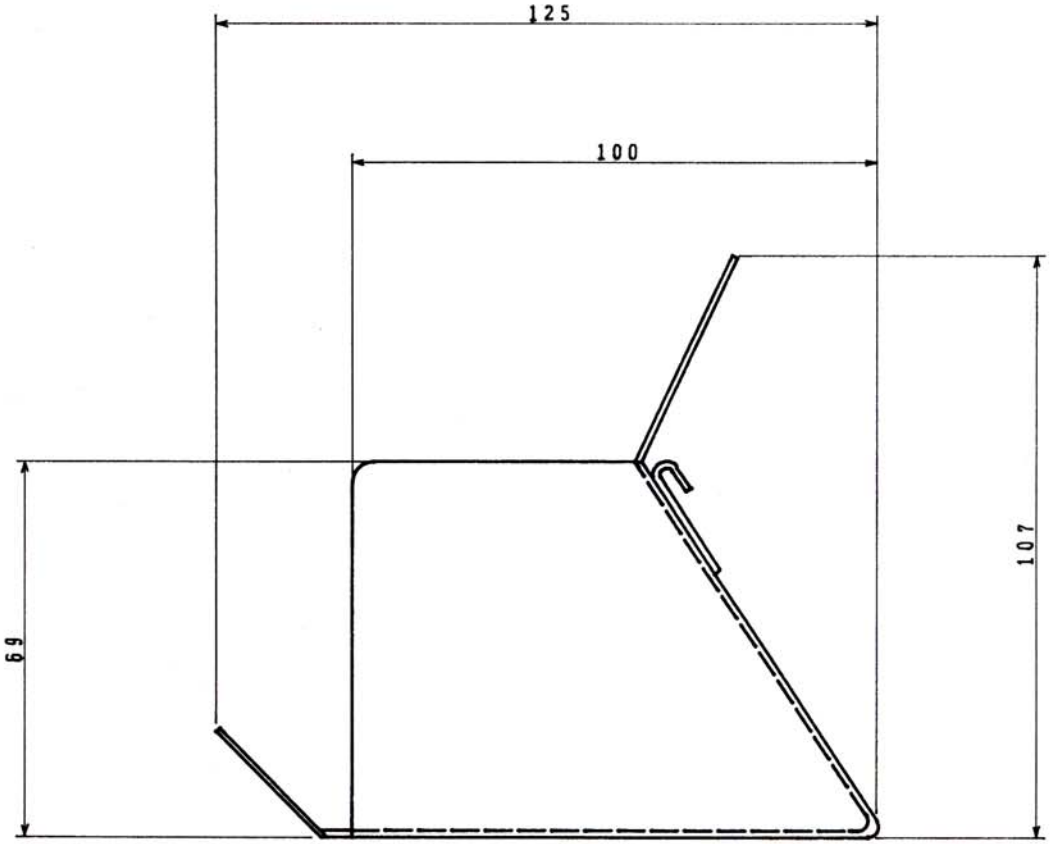
B2 / B1		16進	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		進	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	0	0		弋	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5	1	1		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	兒	兀	兒	兌	兔	兢	競
5	2	2		辦	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
5	3	3		咫	哂	咤	唪	啗	哥	唫	唐	哽	唏	晤	哽	唹	哭	哺	哢	唚	哯	啣	唾	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	喙	喀	咯	喊
5	4	4		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圻	埒	圷	圩	圭	垂	埜	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒			
5	5	5		奸	妁	妝	佞	佚	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	娙	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂		
5	6	6		屐	屏	孱	屬	屮	屺	岌	屹	岑	岱	岳	岼	岻	岶	岨	岷	峅	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜			
5	7	7		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弍	弖	弩	弭	弸	彈	彌	彎	弯		
5	8	8		悄	悛	悖	悗	悃	悚	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	憊	愀	愎	愃	愆	憖	愠	慇	慊	愍	愎
5	9	9		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	挙	拿	拆	擔	
5	A	10		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	攙	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	
5	B	11		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曳	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	枋	杪	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	
5	C	12		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楫	楙	楬	楝	楷	楠	楂	楸	楴	楹	楙	楲	椰	
5	D	13		楪	榘	榲	榱	榷	榻	檳	榛	檟	檠	櫁	櫟	櫟	櫚	櫪	櫻	欅	蘗	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	
5	E	14		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	淇	淬	淩	淡	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	
5	F	15		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	濟	濕	濬	濔	濘		
6	0	16		熬	燿	燦	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	狃	狆	狄		
6	1	17		瓠	瓣	疋	疚	瓮	甦	甬	甡	甜	瓷	甄	甕	甽	甌	甍	甕	甓	甦	甬	甲	甾	畎	畋	畔	畉	畛	畚	畝	畤			
6	2	18		癪	癶	癸	發	皃	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眄		
6	3	19		磧	磚	磽	磴	磧	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祇	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禊	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	
6	4	20		筐	笄	筍	笋	筌	笊	筵	筥	筴	筧	筰	筴	筴	箘	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	箏	箙	箋	篋	篌	篏	篋	篆		
6	5	21		紂	紜	紕	紊	絅	紘	絮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綮	綺	綮	綣	綵	緇	綽	
6	6	22		罅	罌	罍	罐	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罸	罰	罸	罽	羂	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羌	羶	
6	7	23		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	腸	膩	膰	膵	膾	膸	臀	臂	膺		
6	8	24		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	荔	莅	莚	莪	莟	莢	莖	莫	莎	莇	莊	茶	莵	荳	荵	荼	莉	莨	菴	
6	9	25		莠	蕊	蓙	蓿	薀	薙	薈	薑	薊	薨	蕭	薐	薛	薮	薇	薜	蕀	蕾	蕘	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘋	
6	A	26		蝓	蝪	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	蠡	蟀	蟐	雖	螫	蠁	蠏	蠑	螻	蠕	蠖	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠑	螫	蠟	蠖	
6	B	27		襦	襤	襭	襪	襷	襴	覲	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覺	覽	覿	覯	覲	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖			
6	C	28		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讃	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貍	貎		
6	D	29		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躑	躔	躙	躪	躡	躰	躾	軀	躱	躾		
6	E	30		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	
6	F	31		錙	錢	錚	錣	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鎚	鎰	鎬	鎭	鎔	鏡	鏖	鏗	鏨	鏥	鐓	鐔	鐐	鐓	鐫	鐔	鐓	鐵	鐃			
7	0	32		陜	陟	陶	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隷	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	
7	1	33		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋		
7	2	34		髞	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬩	鬮	鬨	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴		
7	3	35		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵺	鶯	鶴	鶲	鶺	鶻	鶸	鶺	鷁	鷄	鷏	鷓	鷆	鷙	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	
7	4	36																																

B1＼B2		16進	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
5	0	0	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	侭	侃	侯	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5	1	1	兩	俞	兮	冀	冂	冏	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5	2	2	凵	卅	世	卉	卍	準	卞	卩	厄	匆	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5	3	3	呷	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嘯	嘶	嚏	嚊	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5	4	4	塒	堊	垉	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塹	毀	塒	堖	塹	墅	壇	壚	壜	壻	壞	墻	墫	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壜
5	5	5	媽	媽	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嫣	嬶	孀	孃	孅	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	孜	孺	宀
5	6	6	峯	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵕	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶸	嵫	嵼	巓	巒	巖	巛
5	7	7	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5	8	8	慇	慍	慤	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慝	慳	慴	慷	慘	慙	慫	慴	傷	愷	愕	慟	慝	慄	憊	憖	憇	憩	憬	憔	憚
5	9	9	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拶	挬	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5	A	10	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旋	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5	B	11	朶	杼	杪	杤	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	桁	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔
5	C	12	榆	楞	棟	椶	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	槧	桴	槍	榻	槃	棣	槫	榱	槞	樗	樔	槶	樒	榑	榠	榛	樛	樢	樚	榿
5	D	13	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殪	殣	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	毟
5	E	14	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淦	淪	淮	渭	湮	渟	渙	湲	湟	渾	渣	湫	溏	渥	湜	渫	浿	浸	涅	渤	涵	涕
5	F	15	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烟	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
6	0	16	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獣	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6	1	17	畧	畫	畛	畸	當	疆	疇	畴	疊	疂	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6	2	18	眄	眩	眤	眞	眥	眦	睨	睥	睚	睫	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗
6	3	19	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
6	4	20	篝	篩	簔	簔	簍	篥	篭	簀	簇	簑	篳	篷	簗	簍	篶	簀	簀	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籟	籤	籖	籔
6	5	21	綫	總	綢	綯	縣	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縕	縡	縒	縅	縉	縢	繆	繩	縻	縵	縹	繃	縷	繖	繚	繝
6	6	22	贏	譱	翅	翠	翊	翕	翔	翡	翰	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耶	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聯
6	7	23	臉	臍	臙	臈	臘	膕	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舗	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6	8	24	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	菢	萠	莽	萸	蔆	萩	莟	萼	蒭	蓴	葎	葫	葡	莢	蒂	葩	葆	萬	葯
6	9	25	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘊	蘿	虍	虒	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蛎	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6	A	26	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	衰	袒	袟	袱	袵	袂	袗	袒	袮	袙	袍	袤	袈	袿	袷
6	B	27	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	諧
6	C	28	貔	貅	貘	戝	質	貪	貽	貲	貳	貳	貶	賈	賁	賎	賣	賚	賽	賺	賻	贊	贅	贊	贄	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6	D	29	躰	軆	軋	軛	軃	軼	軻	軫	軾	軽	軺	軽	軅	軿	輊	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	轆	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6	E	30	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釜	釣	釼
6	F	31	鑁	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鑓	鑚	鑞	鑄	鑛	鑠	鑢	鑰	鑪	鑞	鑪	鈬	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
7	0	32	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霾	霹	靄	靆	靈	靄	靨	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靱	靭	靹	鞅	靼	鞁	靹	鞋	鞏			
7	1	33	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駆	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駸	騏	騅	駢	騙	騫	騒	驅	驂	驀	驃		
7	2	34	鮴	鮖	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鰉	鮸	鯣	鯢	鯱	鯨	鰔	鰈	鰕	鰓	鰌	鰆	鰚	鰊	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鰺	鰾	鰛	鰥	
7	3	35	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麕	麒	麕	麖	麝	麥	麩	麸	麹	麾	黌	黎	黏	黝	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯		
7	4	36																																

B2 / B1		16進	6 0	6 1	6 2	6 3	6 4	6 5	6 6	6 7	6 8	6 9	6 A	6 B	6 C	6 D	6 E	6 F	7 0	7 1	7 2	7 3	7 4	7 5	7 6	7 7	7 8	7 9	7 A	7 B	7 C	7 D	7 E	7 F
16進			64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
5	0	0	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	修	偈	做	偖	偬	偭	傀	傚	傅	傴	傲	
5	1	1	凰	凵	函	刃	刋	刻	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劒	劔	劖	劘	劑	辨	
5	2	2	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	咬	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呪	咄	咐	咆	哇	唪	啀	啞	哄	哈	咨		
5	3	3	噫	噤	噺	噬	噪	噛	噂	噴	噭	噓	噓	嚊	嚮	嚴	囂	嚙	囃	囀	囈	囑	囓	口	囘	圀	圀	圃	圄	圉	圈			
5	4	4	壜	壌	壟	壯	壷	壹	壻	壺	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
5	5	5	它	宦	宸	寃	寇	崔	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5	6	6	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幣	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5	7	7	怙	恠	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恣	悒	悒	恊	恆	恍	恣	恃	恤	悒	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	
5	8	8	慊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戞	
5	9	9	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	撹	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5	A	10	昃	昱	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暈	暈	暎	暉	暄	暘	暝	暹	曉	暾	曄		
5	B	11	梳	桾	桿	栫	桙	桍	桑	桔	椄	梳	椁	條	椰	梃	椿	梹	桴	梵	梱	梵	棰	棺	椏	棹	棊	椥	棘	椢	棯	椌	椌	棍	
5	C	12	槲	槧	槌	榱	樞	槭	樔	槫	樊	櫁	櫟	樣	樓	橄	樌	橲	橿	橄	櫑	橙	橦	橈	樸	樢	檎	檐	檪	檠	櫛	櫪	櫺	
5	D	13	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5	E	14	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滔	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	漕	滬	滔	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5	F	15	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熙	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	燹	爇	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	
6	0	16	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6	1	17	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癇	癘	癡	癢	癨	癪	癩	癬	癰		
6	2	18	蠱	矚	矜	矣	矮	砿	砌	砒	砿	砠	砺	硅	碎	硼	碆	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬		
6	3	19	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竗	竚	竰	竓	站	竚	竝	竡	竦	竭	竰	笆	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐		
6	4	20	籥	籬	粁	粃	粐	粤	粭	粢	粨	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糘	糘	糠	糜	糢	糲	糯	糲	糲	糲	糺	紆	
6	5	21	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	纉	纏	纈	纒	纔	纖	纎	纜	缸	缺		
6	6	22	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6	7	23	艚	艟	艙	艫	艸	艱	艶	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	荐	荜	苞	茆	苜	茉	苣	
6	8	24	葯	葩	萵	葥	葢	蒹	葛	葫	蒄	蒐	蒻	蒨	蓆	蓖	蒹	蓼	蔕	蔦	蓴	蔗	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蔴	蕀	蕣	蕘	蕈		
6	9	25	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蝣	蛹	蝋	蝪	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6	A	26	衩	衽	衍	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襠	襄	褻	褶	襁	襦	襤	襪	襷	襞	
6	B	27	謌	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6	C	28	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	蹌	踊	蹊	
6	D	29	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	迦	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	達	逝	
6	E	30	釵	釶	鈎	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鋏	鋪	銹	銷	鍇	鋐	鋺	鋦	錚	
6	F	31	閏	閏	閧	閊	閖	閙	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陛	
7	0	32	韋	韜	韈	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	齪	竟	韶	韵	頏	頌	頚	頤	頡	頷	頽	顆	顔	顋	顫	顯	顰	
7	1	33	騏	驕	驍	騅	驗	騶	驢	驥	驤	驪	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髦	髣	髴	髷	髪	髯	髱	髫		
7	2	34	鰌	鰺	鰲	鱒	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴻	鴦	鴛	鴒	鴕	鴿	鵁	鵆	鵈	鵑	鵙		
7	3	35	黴	黶	黷	黼	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齟	齠	齟	齠	齡	齦	齬	齪	齲	齶	龕	龜	龠		
7	4	36																																

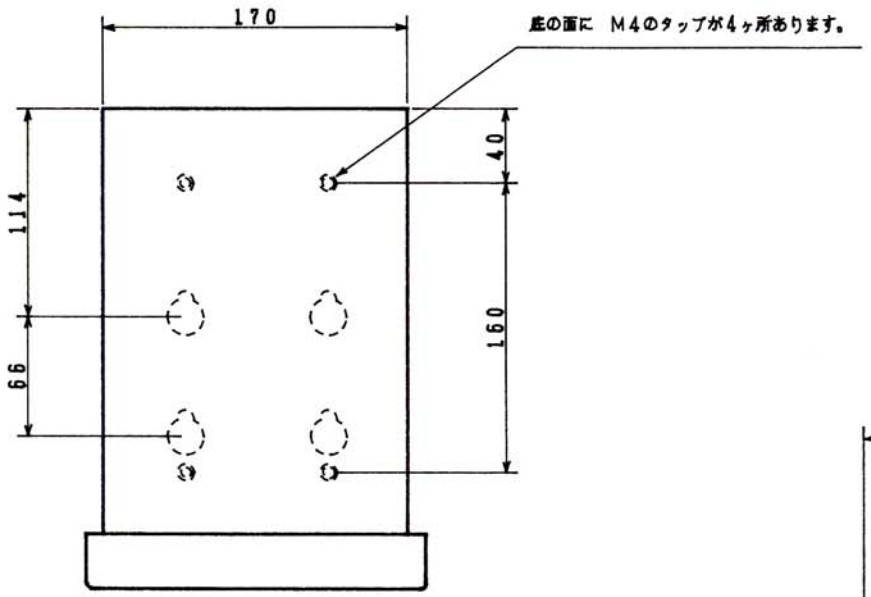


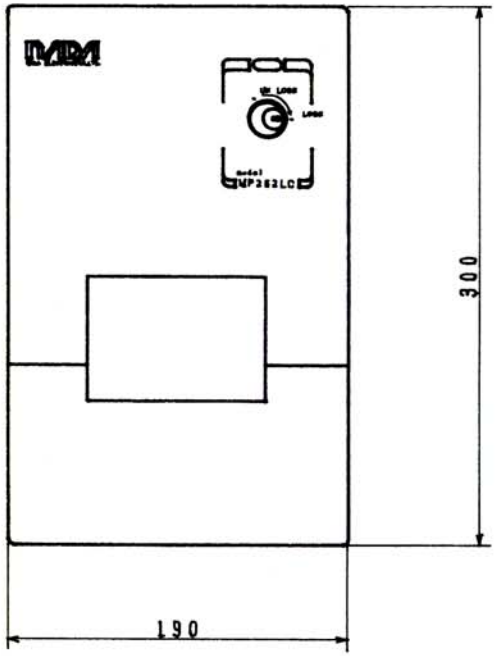


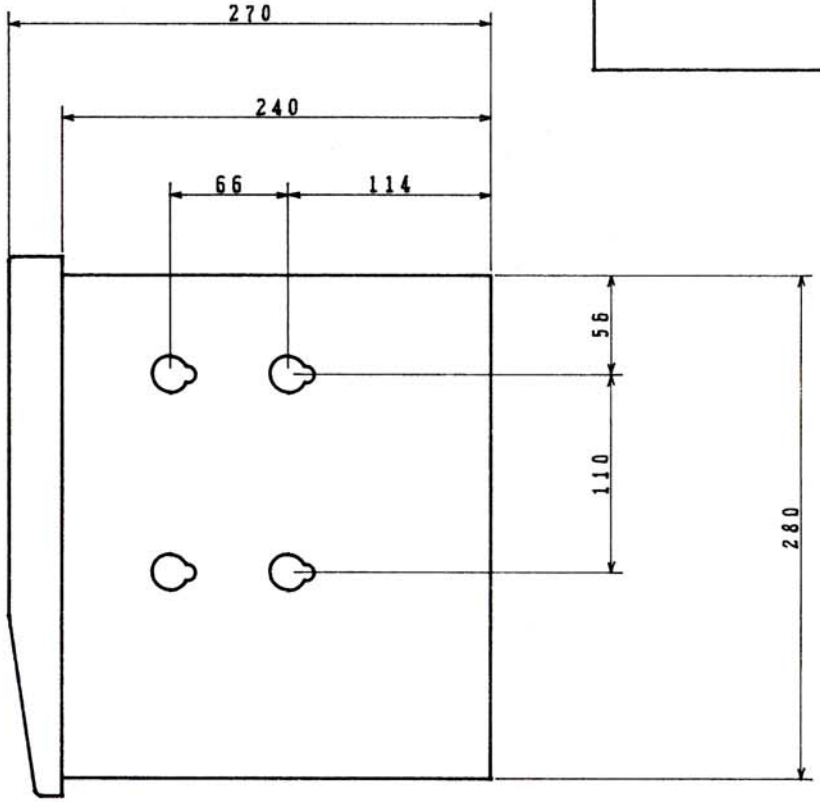


改訂	符号	記事	年月日	担当

年月日	03/10/31	尺度		第3角法	一個当り重量		名称	MP262LC 受け皿
承認		参照		設計	斎沢	作成		図番	P-3





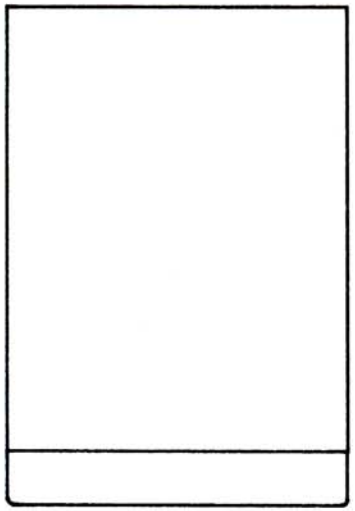


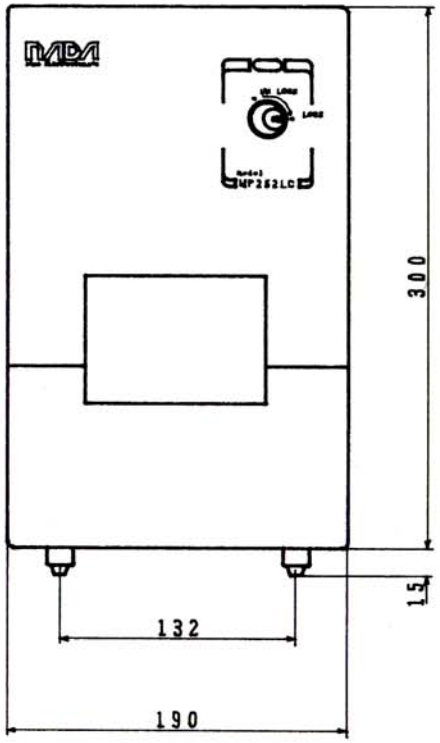
パネルカット寸法

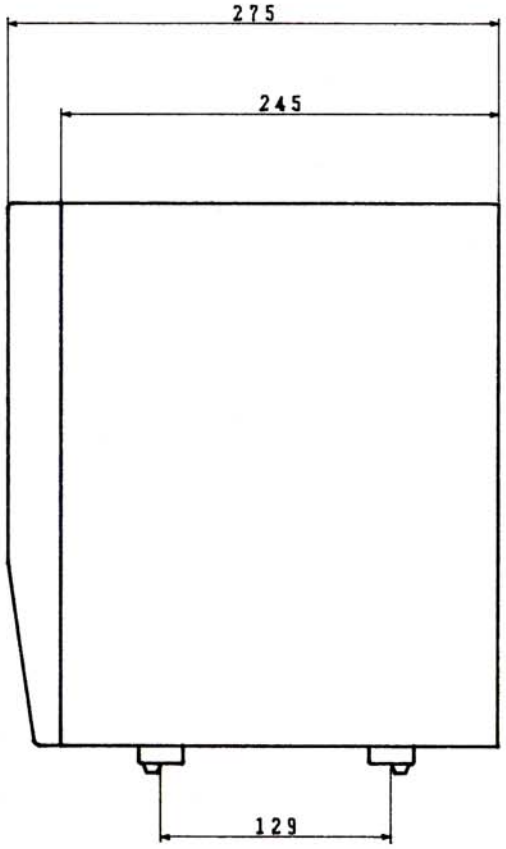
281 +1 −0 × 171 +1 −0

パネル厚 2 ～ 5 mm

改訂	符号	記事	年月日	担当	年月日	33/10/31	尺度		第3角法	一般公差		名称	MP262LC 外観図
					承認		検査		設計	藤沢	作成		図番	







改訂					年月日	1995 12. 6	尺度		第3角法		一般公差		名称	MP262LCT 外観図
					承認		参査		設計	作成			図番	
	符号	記事	年月日	担当										

NADA

ナダ電子株式会社

本　　社　神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号　〒658-0015
TEL(078)413-1111　FAX(078)412-2222

東　京(営)　東京都港区芝4丁目5-11　芝プラザビル　〒108-0014
TEL(03)3455-4230　FAX(03)3455-4249

名古屋(営)　名古屋市名東区上社1-1304　北村第三ビル　〒465-0025
TEL(052)776-1921　FAX(052)775-6080

福　岡(営)　福岡市博多区博多駅南1丁目7-16　オーリン7号ビル　〒812-0016
TEL(092)471-8305　FAX(092)471-8355

仙　台(営)　仙台市宮城野区榴岡5丁目1番15号　〒983-0852
TEL(022)256-0211　FAX(022)292-1610